

2. 畑田地区

畑田地区 ワークショップ実施概要

テーマ	畑田地区ってどんなところ？-地域の魅力と課題を見つけよう！-		
実施内容	第1回	令和5年10月3日（火）19時-21時	16人
		・畑田地区ってどんなところ？	
	第2回	令和5年11月6日（月）19時-21時	13人
		・もっと魅力的な畑田地区にするためのアイデアを学ぼう！	
	第3回	令和5年12月7日（木）19時-21時	13人
		・これならできそう！と思うアイデアをやってみる準備をしよう！	
結果概要	<p>地域での取組みについて、行事の情報共有や確認などの会議を行っている一方で、地域内の他団体の活動者や活動内容がよくわかっていない状況や、自治会活動の新たな担い手が少ないといった課題から以下の目的を持ってワークショップを行った。</p> <p>（１）地域内での活動状況や内容について、様々な人が知ることができる状況にする （２）地域内で展開される活動の横断的なつながりを構築する （３）畑田地区の魅力や課題に対して認識してもらい、まちのことを考えるきっかけにする</p> <p>○若い人が参加しやすい組織づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い人に自治会の必要性を感じてもらいたい ⇒若い人の意見を聞く機会をつくろう <p>工夫点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い人を集めるイベントをしてみよう ・既存のイベントを変える ・自治会活動の目的や内容を伝えるためにイベントのマニュアル作成を行う <p>○魅力のある行事等の企画・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「畑田ならではの」のイメージをつくりたい ⇒畑田ポッチャ大会を年に2回実施し、ポッチャを普及・拡大する <p>工夫点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちにポッチャを体験してもらう ・親子チームを結成して、ポッチャ大会に参加してもらう <p>○みんなで交流する場・機会の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者や子どもにも地域を知ってもらえるイベントを実施したい ⇒ウォークラリーを実施しよう！ <p>工夫点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもからお年寄りまで楽しめるようにする！ 		

	<ul style="list-style-type: none"> ・1 学期の地域活動が少ない時期に実施してみる！ <p>○安全・安心な地域をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちの安全に関する情報を共有しよう！ ⇒自治会長からの情報発信をする体制づくりを構築する。 ⇒情報発信のプラットフォームをつくる <p>工夫点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴任の自治会長が新米の自治会長をサポートする体制をつくる！ ・防犯や防災は既存の団体に任せる！
<p>来年度以降 に向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップを経て、まずは様々な人が集まりやすいような時間に会議を実施するようになった。 ・今後の方向性と具体的に実施することとしては以下が挙げられる。 <p>①地区の将来に向けて、若い人の参加促進が最も重要</p> <p>【これから】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まずは、若い人の意見を聞く場をつくってみる！ <p>【具体的に実施すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い人の興味・関心が高い「まちの安全（防犯・防災）」に関するテーマを切り口に意見交換会を行う ・それにあわせて、自治会・地域についての若い人の考えを聴く！ <p>②地区の「魅力」と「交流の機会」を増やす</p> <p>【これから】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の魅力を高め、交流を促すイベントを行う <p>【具体的に実施すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者や子どもにも地域を知ってもらえるウォークラリーを企画して行う！ ・畑田と言えば「ポッチャ」というイメージを定着させるため、ポッチャ大会を年に2回実施する！

【WSの様子：写真】

第1回



第2回



第3回



第1回資料

畑田地区ってどんなところ？ -地域の魅力と課題を見つけよう！-

第1回

2023年10月3日（火）19:00-21:00



地域活動の活性化に向けた ワークショップとは？

地域コミュニティの現状

【背景】

- 少子高齢化に伴う人口減少や人口構造の変化
- 人々の価値観の変化
- ライフスタイルの多様化
- 核家族化、単身世帯や共働き世帯の増加



【現状（課題）】

- 自治会加入率の低下（約52.9%）
- 高齢化による担い手不足
- 自治会等の役員就任への負担感
- 地域活動に対する負担感



【影響】

- 自治会等への未加入や脱会
- 老人クラブ、子ども会などの地域組織の解散
- 防犯、防災、福祉、環境などの自治会機能が縮小

※地域の力が低下して、自分たちだけで課題を解決することが難しくなっている。

※「安全・安心で住みよいまちづくり」への影響が懸念される。

そこで！！



■ワークショップの目標

○地域コミュニティ基本指針

⇒「地域が主体的に行う取組」の一つである
「協議の場づくり」として実施。



多様な主体が出合い・活動する場の提供や機会を創出する一助



目標「人材の育成、地域活動の活性化」



地域活動の活性化に向けたワークショップ

[畑田地区]

ワークショップ全3回について

	各回のテーマ	各回の目的
第1回	畑田地区ってどんなところ？	・畑田地区の「魅力」や「課題」、 「将来はこんな畑田がいいな」ということを話し合います。
第2回	もっと魅力的な畑田地区にするためのアイデアを学ぼう！	・ほかの地域で行われている、気軽にできる・楽しんでできる活動のアイデアを学び、自分たちができそうなことを話し合います。
第3回	「これならできそう！」と思うアイデアをやってみる準備をしよう！	・これまで考えたアイデアをもとに、「できそう！」「やってみたい！」と思える取組を行うために、何をするか話し合います。

全3回のワークショップを通して、各組織の連携を促進していくこと、協議の場づくりを行うことを目的としています。



本日のプログラム

畑田地区ってどんなところ？

- 19:00- 開会挨拶・ワークショップの説明など
- 19:15- 自己紹介・話し合いの準備運動（アイスブレイク）
- 19:30- ワークショップ①
畑田の魅力的なところ、もっとこうなったらいいな、と思っていることを話し合おう
- 20:10- ワークショップ②
「こういう畑田になってほしいな」「こういうことをしたいな」等の思っていることを話し合おう
- 20:40- 発表・意見交換
- 20:55- 今後に向けて・閉会挨拶



グループに分かれて話そう

自己紹介

①名前

②所属団体等と
活動内容

③グッドニュース
バッドニュース

涼しくなって
すごしやすい！



話し合いで大切にしたいこと

1. みんなの話は反対せずフムフムと聞こう
2. 自分の話は簡潔にサクサクと話そう
3. 思っていることをドンドン出そう
4. みんなで力を合わせてワイワイ盛り上がろう
5. 楽しくニコニコと参加しよう

グループにはファシリテーターと呼ばれる、話し合いのサポート役がいます。
 (話をしやすい場にしたり、整理したり、より良い話し合いを促す人です)



話し合いで大切にしたいこと

合意形成の場ではありません

アイデアを出し合い方向性を見出す場

役割や権限・責任は
一旦横に置いておきましょう！



グループでの話し合い

- ①畑田の魅力や課題について話し合おう
- ②畑田がもっと楽しくなる未来を考えよう

話し合いのゴール（目的）

皆さんの思う畑田の好きな場所、自慢の活動などの魅力や、こういう場所が欲しい！こういう活動がない。というような課題に加え、その理由をみんなで共有し、将来、畑田がもっと楽しくなれるような取組アイデアを考えます。

→次回は、皆さんから出た好きな場所や活動をより楽しくし、課題になっていることを解決できるために、ほかのまちの取組アイデアなども参考に話し合いを行います。



畑田ってどんなところ？

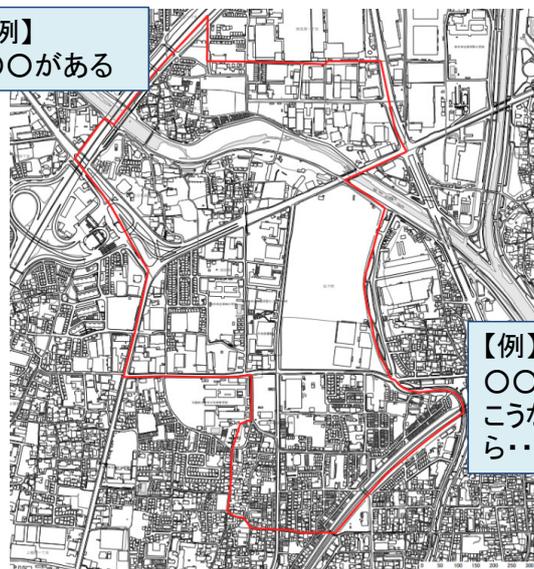
畑田地区の「魅力的なところ」や「課題」を教えてください

地図も見ながら話し合おう！

思いつくものがなければ、「魅力カード」や「課題カード」に書いている内容から連想される魅力を話してみましよう

皆で何で魅力的なのか、なんで課題だと思うのかといった理由についても話し合いましよう

【例】
〇〇がある



【例】
〇〇はもっとこうなったら..



魅力カード

いつも集まる場所 	昔から変わらないなど 感じる風景 	こどもの遊び場 	公園 
お祭り 	催し 	伝統・文化・言い伝え 	身近に感じる自然 
移動や買い物の利便性 	こんな人がいるよ 	美しい風景・場所 	くつろぎの場所 
子育て支援活動 	防災・防犯活動 		

次なる
茨木へ。
茨木には、次がある。

課題カード

生活マナー・ モラル 	住環境の問題 	地域活動団体の 担い手不足 	子育てや 教育の問題 
空き家の増加 	防災・防犯 	こんな場所があったらいいな (今はないけど...) 	交通安全 
コミュニティ(つながり) の希薄化 			

次なる
茨木へ。
茨木には、次がある。

未来の畑田について考えてみよう！

「魅力」や「こうなったらいいな」ということを
ふまえて、将来の畑田は・・・

- ① 魅力を磨いて、**もっとこうなってほしい**
- ② **もっとこんなことしたい**
- ③ **こうなったらいやだな**

と、思っていることを教えてください！



発表・意見交換

各グループから、話し合った結果を報告

- ① 畑田ってどんなところ？
- ② 未来の畑田について

1 グループ3分程度でお願いします

次回は今回の発表内容を踏まえて、
話し合いの材料を用意します。



次回（第2回）予定

今日話し合った、畑田の魅力と課題

もっと魅力的な畑田地区にするための
アイデアを学ぼう！

2023年11月6日（月）
19時00分～21時00分



畑田

HATAKEDA

地区

地域活動の活性化に 向けたワークショップ

VOL. 01

ニュースレター

令和5年10月

発行：茨木市市民文化部地域コミュニティ課

畑田地区では、「畑田地区ってどんなところ？-地域の魅力と課題を見つけよう！-」をメインテーマに、地域の更なる活性化を目指して、全3回のワークショップを実施しています。令和5年10月3日(火)に開催した第1回のワークショップでは、4つのグループに分かれて2つのワークを行いました。



第1回 実施概要

日時：2023.10.3 (火)

19:00~21:00

会場：畑田コミュニティセンター

参加者数：16人

プログラム

- 1：会長挨拶
- 2：ワークショップ趣旨説明
- 3：参加者自己紹介
- 4：グッドニュース・バッドニュース (アイスブレイク)
- 5：ワーク①：畑田ってどんなところ？
- 6：ワーク②：未来の畑田について考えてみよう！
- 7：グループ発表 (全体共有)



ワーク1 畑田ってどんなところ？

ワーク1では畑田地区の地図も見ながら、模造紙に付箋を貼って、畑田地区の魅力と課題を出し合いました。各グループでたくさんの魅力と課題が出され、用意した模造紙はたくさんの付箋で埋め尽くされました。

「地域の仲がいい」、「楽しそうな取組を積極的にしている」、「高速道路のインターが近く交通の利便性が高い」、「適度に自然が豊かで住みやすい」などの意見が各グループで共通して魅力としてあがり、「交番が少ない」、「自治会の役の担い手が固定化している」、「若い人が自治会に入ってくれない」、「防災面が心配」といった意見が共通した課題としてあがりました。

ワーク 2 未来の畑田について考えてみよう！

ワーク2では、ワーク1での「魅力」や「こうなったらいいな」という議論を踏まえて、**将来の畑田は、**
 ①魅力を磨いて、もっとこうなってほしい！ ②もっとこんなことしたい！ ③こうなったらいいだな。
 という意見を出し合いました。

○各グループの話し合い内容（抜粋）

グループ	ワーク1の主な意見		ワーク2の主な意見
	魅力	課題	未来の姿
1	<ul style="list-style-type: none"> ○中学校区(4つの小学校区からなる)は仲がいい ○最近子育て世帯が増え、地域の行事にも協力的 ○新鮮な野菜が安く買える ○貸し農園が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども会のイベントに参加してくれる子どもが少ない ○若い世代は手伝いには来てくれるが担い手にはなってくれそうにない ○防犯面を強化したいものの、青パトは高齢化でできなくなる 	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢になっても負担がないやり方で続けていきたい ○新しいアイデアや若い世代がやりたいことが積極的にできる地域にしたい ○もっとたくさんの若い世代・子育て世代に住んでほしい ○防災訓練をしたい
2	<ul style="list-style-type: none"> ○校区内のイベントが盛ん ○公共施設(中央図書館・きらめき)が豊富 ○小学校のグラウンドが広い ○春日神社の石燈籠が、国の重要文化財になっている 	<ul style="list-style-type: none"> ○活動を行う人の高齢化が進んでいる ○コロナの影響により活動の引継ぎがうまくいっていない ○公園でのボール遊びが禁止されているため、地域でボール遊びができる場所がない 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもがボール遊びをできる場をつくる(※実は小学校のグラウンドでできる) ○活動の若い担い手が増えてほしい ○水害が心配なため、治水整備をしてほしい
3	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校との関係性が高い ○市街地が近い ○住宅地としての人気がある ○地域の仲がいい 	<ul style="list-style-type: none"> ○みんなでくつろげる場が少ない ○渋滞が多い ○公共施設があっても利用者は少ない ○近所づきあいのトラブルも発生している 	<ul style="list-style-type: none"> ○みんなが集まれる場をつくる ○居場所づくりをしたい ○活動に若い人が参加できるように、若い人の声を聞いてみたい
4	<ul style="list-style-type: none"> ○「地域の子どもは地域で見守る活動(12年目)」に取り組んでいる ○公園の草刈りには多くの人が参加する ○五日市では防災訓練に取り組んでいる 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の子どもは地域で見守る活動のメンバーが1度も変わらない ○高齢者中心に公園などの草刈り活動を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会の活動に若い人がきやすくなってほしい ○若い世帯にきてもらうために、子どもをきっかけにして親に活動に参加してもらえる方法を探りたい ○災害リスクに対応できるようにする

次回ワークショップは11月6日(月)。今回話し合った畑田地区の魅力と課題を、よくしていくために、参考になる他自治体で行われている事例を学びつつ、できそう！と思えることを話し合います。

第2回資料

もっと魅力的な畑田地区にするための アイデアを学ぼう！

第2回

2023年11月6日（月）19:00-21:00



ワークショップ全3回について

	各回のテーマ	各回の目的
第1回	畑田地区ってどんなところ？	・畑田地区の「魅力」や「課題」、 「将来はこんな畑田がいいな」ということを話し合います。
第2回	もっと魅力的な畑田地区にするためのアイデアを学ぼう！	・ほかの地域で行われている、気軽にできる・楽しんでできる活動のアイデアを学び、自分たちができそうなことを話し合います。
第3回	「これならできそう！」と思うアイデアをやってみる準備をしよう！	・これまで考えたアイデアをもとに、「できそう！」「やってみたい！」と思える取組を行うために、何をするか話し合います。

全3回のワークショップを通して、各組織の連携を促進していくこと、協議の場づくりを行うことを目的としています。



本日のプログラム

もっと魅力的な畑田地区にするための アイデアを学ぼう！

- 19:00- 開会挨拶・ワークショップの説明など
- 19:05- 前回の振り返り
- 19:15- アイスブレイク
- 19:20- グループワークの進め方の説明
- 19:25- グループワーク①
- 19:50- ミニ講座
- 20:05- グループワーク②
- 20:45- 発表・全体共有



第1回ワークショップのまとめ(1班)

	魅力	課題	将来
地域内のつながり(地域内の活動)	<ul style="list-style-type: none"> ○新しいイベントに(キャンプファイヤー・ボルダリング・月見)積極的にチャレンジしている ○青健協が行う子どもイベントの参加者は多い ○各種団体が主体的に動くことが多い。 ○中学校区(4つの小学校区からなる)は仲がいい ○最近子育て世帯が増え、地域の行事にも協力的 ○お祭りがある 	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢化が進んでいる(役員も) ○子ども会や老人会が1つしかない ○子ども会のイベントに参加してくれる子どもが少ない ○担い手が不足している ○コロナ禍で引継ぎが上手くいかず、自治会の全体像がつかみづらい ○若い世代は手伝いには来てくれるが担い手にはなってくれそうにない ○若い世代は自治会の活動と仕事との関係が難しい。 ○子どもがいないと校区すらも分からない 	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢になっても負担がないやり方で続けていきたい ○若い担い手が来てほしい ○新しいアイデアや若い世代がやりたいことが積極的にできる地域にしたい ○もっとたくさんの若い世代・子育て世代に住んでほしい ○世代をいかにつないでいくか
居場所・遊び場	<ul style="list-style-type: none"> ○公共施設(中央図書館・きらめきホール)が豊富 		<ul style="list-style-type: none"> ○子どもがまちで遊んでほしい
立地・生活利便	<ul style="list-style-type: none"> ○インターが近い ○コンビニ多い 	<ul style="list-style-type: none"> ○渋滞が多い ○スーパー少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ○スーパーが増えてほしい。 ○お年寄りの買い物がしやすくなるといい
環境	<ul style="list-style-type: none"> ○農地があり、ホッとする ○新鮮な野菜が安く買える ○貸し農園が多い 		
防犯・防災	<ul style="list-style-type: none"> ○河川氾濫の心配 	<ul style="list-style-type: none"> ○防犯面を強化したいものの、青パトは高齢化できなくなる 	<ul style="list-style-type: none"> ○防災訓練をしたい ○災害別の避難所を把握できれば ○小学校の通学路見直し(ホテル街が通学路になっている)
文化財			

第1回ワークショップのまとめ(2班)

	魅力	課題	将来
(地域内のつながり)	<ul style="list-style-type: none"> ○ふるさとまつりの子どもの参加率が高い ○文化展の時にボルダリングをして子どもが多かった。 ○校区内のイベントが盛ん 	<ul style="list-style-type: none"> ○活動を行う人の高齢化が進んでいる ○地域行事に若い人が少ない ○子どもフェスティバルがなくなった ○地区運動会の規模が縮小した ○文化展の出展者が少ない ○コロナの影響により活動の引継ぎがうまくいっていない 	<ul style="list-style-type: none"> ○活動の若い担い手が増えてほしい
遊び場・居場所	<ul style="list-style-type: none"> ○公共施設(中央図書館・きらめきホール)が豊富 ○小学校のグラウンドが広い ○各種団体が小学校のグラウンドをつかっている 	<ul style="list-style-type: none"> ○公園でのボール遊びが禁止されているため、地域でボール遊びができる場所がない 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもがボール遊びをできる場をつくる(※実は小学校のグラウンドでできる)
立地・生活	<ul style="list-style-type: none"> ○立地がよく市内のイベントにも参加しやすい ○交通の利便性が高い(駅や高速が近い) 	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校が西門から入れず通学路が遠回りになる ○スーパーが少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ○中学校での給食が開始してほしい ○スーパーがほしい
環境	<ul style="list-style-type: none"> ○(さくら通りの)遊歩道は車とのおらないから歩きやすい ○新しく家をたてられる場所が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ○春日の方は空き家が多くなっている ○子どもの数が少ない ○転入者が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ○防犯の取組の周知
防犯・防災		<ul style="list-style-type: none"> ○交番がない ○青パトが廃止された ○交通量が多く横断しにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域に交番が欲しい ○警察のパトロールを強化する ○水害が心配なため、治水整備してほしい ○通学路に位置するホテル街がなくなってほしい
文化財	<ul style="list-style-type: none"> ○春日神社の石燈籠が、国の重要文化財になっている 	<ul style="list-style-type: none"> ○春日神社の夏祭りがなくなった 	

第1回ワークショップのまとめ(3班)

	魅力	課題	将来
地域内のつながり(地域内の活動)	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校との関係性が高い ○地域の仲が良い 	<ul style="list-style-type: none"> ○公園(みんなでくつろげる場や集まる場)がない ○和気あいあいとしているが、若い人が入りづらい ○役員が固定化されている ○老人会がないところもある ○話し合いの場に若い人が少なすぎる ○若い人が入りにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ○老人会にみんなが参加できるような工夫をしたい ○高齢化が進んでも活動に参加できる地域にしたい ○みんなが集まれる場をつくる ○居場所づくりをしたい ○活動に若い人が参加できるよう、若い人の声を聞いてみたい ○若い人をまきこみたい ○地域の体制づくりを立て直す(まずは集まれる状態をつくる) ○体制では、年代のバランスをとれるようにしたい ○末端まで情報が届くような体制づくりを行いたい
遊び場・居場所	<ul style="list-style-type: none"> ○公共施設が豊富にある 	<ul style="list-style-type: none"> ○公共施設があっても利用者は少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ○施設利用者を増やす(きらめき講座の内容を変えてみる)
立地・生活	<ul style="list-style-type: none"> ○市街地が近い ○高速のインターが近い 	<ul style="list-style-type: none"> ○スーパーがない ○駅が遠い ○渋滞が多い 	
環境	<ul style="list-style-type: none"> ○住宅地としての人気がある 	<ul style="list-style-type: none"> ○近所づきあいのトラブルも発生している 	

第1回ワークショップのまとめ(4班)

	魅力	課題	将来
地域内のつながり(地域内の活動)	<ul style="list-style-type: none"> ○仲がいい ○いろいろな活動があり、高齢者が家からできるきっかけにもなっている ○子どもの支援活動が活発 ○「地域の子どもは地域で見守る活動(12年目)」に取り組んでいる 	<ul style="list-style-type: none"> ○若い世帯とのつながり方が難しい ○自治会に入らない人や抜ける人がいる。 ○役員や活動に参加する人が限られている ○賃貸住宅が多く、地域活動と一緒に取り組める人が少ない ○地域の子どもは地域で見守る活動のメンバーが1度も変わらない ○熱中症対策やコロナで運動会が縮小した ○子どもが大きい声で遊ぶと怒る人がいる 	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会の活動に参加するのは初めてだけ緊張するため、敷居を下げて若い人が参加しやすくなってほしい ○若い世帯にきてもらうために、子どもをきっかけにして親に活動に参加してもらえる方法を探りたい。(今年は運動会で自治会に入っていない子供にもお弁当を配布する予定のため、上手く機会を活用できれば)
遊び場・居場所	<ul style="list-style-type: none"> ○公共施設が豊富 ○団体の会議やサロンが行われるコミセンもある！ ○公園が多い ○公園の草刈りには多くの人が参加する ○公園は保育所も利用している 	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者中心に公園などの草刈り活動を行っている 	
立地・生活便利		<ul style="list-style-type: none"> ○名神に歩道がない 	
環境	<ul style="list-style-type: none"> ○大阪万博以降に住宅が増えた、比較的新しい街 ○国道171号沿いに住宅地が新しくできる(100戸程度) 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域外の人がゴミを捨てていく 	
防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> ○五日市では防災訓練に取り組んでいる 	<ul style="list-style-type: none"> ○水害のリスクがある 	<ul style="list-style-type: none"> ○災害リスクに対応できるようにする
文化財	<ul style="list-style-type: none"> ○アマゾンの土地に遺跡がでた 		

第1回ワークショップのまとめ

	魅力	課題	将来
地域内のつながり(体制)	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の仲がいい！ 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の情報(自治会の活動)が見えづらい ○コロナの影響により、活動の引継ぎが上手く行えていない ○地域の仲はいいが若い人が入りにくい雰囲気がある ○若い世帯とのつながり方が難しい ○地域活動の体制が固定化している 	<ul style="list-style-type: none"> ○若い活動の担い手が来てほしい ○若い世代の意見を反映できる地域にしたい ○地域の体制を立て直したい ○自治会の活動に若い人が参加しやすくなってほしい
地域内のつながり(行事)	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て世帯は地域の行事にも協力的 ○子どもに関するイベントは楽しい企画を柔軟に行える ○地域の子どもは地域で見守る活動に長く取り組んでいる 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域行事に若い人が少ない ○若い人は、子どもに関するイベントの準備等は手伝ってくれるものの、活動には参加してもらいにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者でも活動を続けていけるようにしたい
遊び場・居場所	<ul style="list-style-type: none"> ○校区内のイベントが盛ん ○楽しいイベントには子どもが多く参加する ○公共施設が豊富にある 	<ul style="list-style-type: none"> ○みんなで気軽に多世代交流ができる場がない ○公共施設の利用者が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの遊び場をつくる ○みんなが集える場をつくりたい
防犯・防災		<ul style="list-style-type: none"> ○青パトが廃止となり、防犯の活動が手薄になっている 	<ul style="list-style-type: none"> ○防災訓練をしたい ○災害リスクに対応できるようにする

第1回ワークショップのまとめ

	魅力	課題	将来
地域内のつながり (体制)	若い人が参加しやすい組織づくり		
地域内のつながり (行事)	魅力のある行事等の企画・実施		
遊び場・居場所	みんなで交流する場・機会創出		
防犯・防災	災害に強い地域をつくる		

第1回ワークショップのまとめ

テーマ①：若い人が参加しやすい地域の組織づくり

【連想のヒント】

- ・若い人が自治会や地域の活動を知ってもらう/参加するにはどうしたらいい？
- ・どのような関わり方であれば、若い人が活動に参加してもらいやすくなりそう？

テーマ②：魅力のある行事等の企画・実施

【連想のヒント】

- ・これまで、多くの人に参加してくれたイベントや行事をヒントに負担感についてや継続する工夫を考えてみよう！
- ・様々な人の「面白そう！」を実現するには、意見をどのように集めたらいい？
- ・様々な世代（若い人から高齢者）まで参加しやすい行事をするためには？
(参加のハードルを下げる工夫や、若い人がやりたいことは？)

テーマ③：みんなで交流する場・機会創出

【連想のヒント】

- ・自分だったら、**どういうところに気軽に行ける？**
- ・子どもからお年寄りまで、**気軽に集まりたくなる場所**はどんなところ？
- ・どうしたら若い人を巻き込める？
- ・**コミセンにどういうもの？こと？**があれば集まりやすい？
(若い人が参加しやすいコミセンの講座とかある？)

テーマ④：災害に強い地域をつくる

【連想のヒント】

- ・自分だったら、**災害が起きたらどうする？**
- ・災害が発生したときに心配な事は、心配な人は？
- ・新しく地域に住む人は避難所の場所とか知ってる？
- ・**地域での防災対策**には何が必要？

話し合いの準備運動 (アイスブレイク)

色紙ゲーム

いくつかの質問をしますので、
色紙を挙げてお答えください

畑田地区に何年住んでる？

30年以上

20年以上30年未満

10年以上20年未満

10年未満



今日話し合いたいテーマは？

若い人が参加しやすい組織づくり

魅力のある行事等の企画・実施

みんなで交流する場・機会創出

災害に強い地域をつくる

＼その他に話し合いたいことがある場合は両手を挙げてください／



グループに分かれて座ってください

1班 若い人が参加しやすい組織づくり

2班 魅力のある行事等の企画・実施

3班 みんなで交流する場・機会創出

4班 災害に強い地域をつくる

＼その他に話し合いたいことがある場合は両手を挙げてください／



グループでの話し合い

- ①テーマごとに**前回出た意見を振り返ろう！**
- ◎ほかの地域のアイデアを学ぼう
- ②**いいな！やってみたい！できそう！**と思ったことを話し合おう

話し合いのゴール（目的）

話し合いのテーマごとに前回のWSで出た魅力や課題等を振り返ったうえで、ほかの地域の取組を知り、自分たちにもできそうなことを考えましょう！

話し合いで大切にしたいこと

1. みんなの話は反対せずフムフムと聞こう
2. 自分の話は簡潔にサクサクと話そう
3. 思っていることをドンドン出そう
4. みんなで力を合わせてワイワイ盛り上がろう
5. 楽しくニコニコと参加しよう

グループにはファシリテーターと呼ばれる、話し合いのサポート役がいます。
 (話をしやすい場にしたり、整理したり、より良い話し合いを促す人です)



話し合いで大切にしたいこと

合意形成の場ではありません

アイデアを出し合い方向性を見出す場

役割や権限・責任は
一旦横に置いておきましょう！



グループに分かれて話そう

自己紹介

①名前

②所属団体等と
活動内容

③各テーブルで自由に



グループワーク①

①テーマごとに**前回出た意見を振り返ろう！**

若い人が参加しやすい組織づくり

みんなで交流する場・機会の創出

魅力ある行事等の企画・実施

災害に強い地域をつくる



グループワーク①

テーマ	
魅力（魅力的な活動や場所等） 	グループワーク②へ！
課題 	
将来（これからこうなったらいいな！） 	


 次なる
茨木へ。
茨木には、次がある。

ミニ講座

他の地域ではどんなことをして、
魅力を伸ばしているの??

さまざまな地域の
参加を呼び掛けるアイデア、
場を、より楽しくするアイデア、
活動を続けやすくするためのアイデア、
災害に強い地域にするためのアイデア
をご紹介します！

今日紹介するテーマ

若い人が参加しやすい組織づくり

魅力のある行事等の企画・実施

みんなで交流する場・機会創出

災害に強い地域をつくる



若い人が参加しやすい組織づくり

まずは活動を知ってもらうところから！

働き世代はまず「知ってもらう」
ことからスタート

若い世代も町内会活動に参加

各年代から役員を構成するようにし、若い世代を育成しています。会計などの役員は40～50代の10人、副区長は60代の2人、区長は70代で構成されています。毎月1回、役員会と班長会を合同で開催し、情報交換の場としています。また、働き世代に負担の大きい仕事はさせず、ただ集まりには参加してもらい、地区での活動を知ってもらうようにしています。若い時期から町内会の活動に関わることで重責を担うころには地区を熟知し、スムーズにまとめられるようになります。

若い人が参加しやすい組織づくり

負担感の少ない方法で大切な取組を行おう！



愛犬との散歩をしながら、地域をパトロールし、登下校時の子どもたちや、地域の見守りを行っています。
普段の活動と組み合わせることで、負担も少なく、防犯活動をおこなえています！！

豊中市「わんわんパトロール活動」

次なる茨木へ。
茨木には、次がある。

魅力のある行事等の企画・実施

準備や片付けも参加者と楽しもう (お客さんにしない！)



茨木市「らくがき広場」



ハンズオン埼玉「おとうさんのヤキイモタイム」



次なる茨木へ。
茨木には、次がある。

魅力のある行事等の企画・実施

学生と協力して面白いことを！



WSでアイデアが出された「多世代が参加できる」イベントとして、「ウォークラリー」を開催。

大学生が企画から参加して、地域にまつわるクイズなどを考えて、楽しく参加できるプログラムとなりました。



中津校区ウォークラリー

次なる
茨木へ。
茨木には、次がある。

みんなで交流する場・機会創出

気軽に集まれる場をつくってみよう！

まちの縁側の素



みなで作る歌声ひろばは
最高に盛り上がる楽しい場



よこちゃんちの寄り合い所
お隣さんちで
おしゃべりタイム



おしゃべりや趣味を楽しめる場を定期的につくると、様々な人と、楽しく！気軽に！交流を続けやすくなります。

一品持ち寄るだけでも会話ははずみます



おしゃべりに欠かさないお茶
うけはどれも手作り



「まちの縁側」

次なる
茨木へ。
茨木には、次がある。

みんなで交流する場・機会創出

多世代が集まりやすいテーマにしてみよう！



「みんなが参加しやすい食をテーマ」にすることで、子どもと高齢者が食卓をともに囲むイベントになっています！

京都市「こども・おとな食堂」

次なる茨木へ。
茨木には、次がある。

災害に強い地域をつくる

大事な取組も楽しく行っていこう！



宇陀市「防災マップワークショップ」

防災まちづくり Cafe (カフェ)
 ●平成21年6月28日 (午前10時～午後1時)
 ●庄内幸町ひろば (小雨決行)
※なお天候不測の場合は、(小雨決行) 畑田地区公民センター(畑田地区公民館)にて、内容の一部変更し開催します。

第1部 すぐに役立つ防災訓練・体験
 ◆水消火器体験 (10:00～12:00)
 ◆救急講習
 ◆防災グッズ一冊
 ◆可視式ポンプ取扱訓練
 ◆半日消防士だ！消防車と一緒に写真を撮ろう
 ◆防災食糧体験
 ◆防災避難カートアップ作り など など

第2部 非常食炊き出し訓練&昼食、防災クイズ
 ◆防災クイズ (12:00～13:00)
 ◆非常食炊き出し訓練
 ◆防災×クイズ など など

※天候不測の場合は、開催場所を午前13時30分に決定します。
 ※お申し込みは、3日前迄(開催前日)までです。
 ☎06-6334-8408 畑田地区公民館(畑田地区)までお問い合わせください。

豊中市「防災カフェ」\$5

防災の取組も、ワークショップやゲーム形式、イベントなどを開き、様々な人が楽しく参加できるようにしています！



次なる茨木へ。
茨木には、次がある。

災害に強い地域をつくる

参加したくなるような仕組みづくりを考えよう！

「全世帯参加」での避難訓練！～災害時の地域での迅速な対応に向けて～

安威北部自治会では、2か所を地域の一時避難場所としており、令和2年1月に実施した一時避難場所集まる避難訓練も、「全世帯」に参加を呼びかけ、地区の8割の世帯が参加しました。

安否確認を行い、災害用品を配布しました。

POINT

自治会の役員だけで実施するのではなく、全世帯に参加してもらうことで、災害を他人事ではなく、自分にとって身近なことと意識してもらいたいという思いから、なるべく全世帯に参加してもらえるように工夫しています。

具体的には、自治会として普段から地域の方との関わりを大切にしているほか、訓練の日程が近づけば、地域の中で「今度の訓練よろしく」と、声かけなどを行っています。



一時避難場所での避難訓練の様子

出典：茨木市「住みたい・住み続けたいまちづくり大百科」

入なる
茨木へ。
茨木には、次がある。

その他

気軽に情報を伝えられる場づくりをしてみよう！



神戸市「みんなの掲示板」



浅草観光センター

入なる
茨木へ。
茨木には、次がある。

その他

若い人に届きやすいような情報発信をしよう！



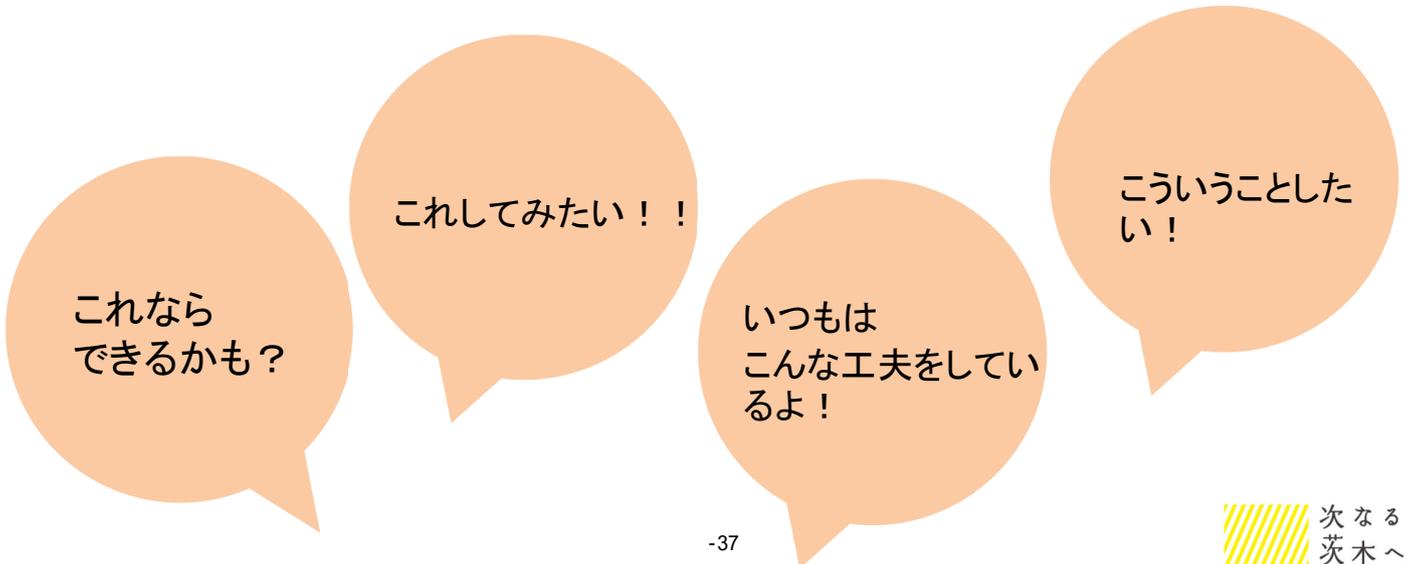
井口台北自治会では、「回覧板をみても自治会の情報が分かりづらい」という声をもとに、自治会の情報伝達不足をLINEを活用して、解消しています。

公式 LINE 開設を知らせるチラシ
出典: 茨木市「住みたい・住み続けたいまちづくり大百科」



グループワーク②

② いいな！ やってみたい！ できそう！ と
思ったことを話し合おう



グループワーク②

テーマ	
魅力（魅力的な活動や場所等） 	いいな！やってみたい！ できそう！と思ったこと 
課題 	
将来（これからこうなったらいいな！） 	

次なる
茨木へ。
茨木には、次がある。

発表・意見交換

各グループから、話し合った結果を報告

- ①テーマごとの前回出た意見の振り返りについて
- ②いいな！やってみたい！できそう！と思ったことについて

1 グループ3分程度でお願いします

次回（第3回）予定

今日話し合った、いいな！やってみたい！できそう！と思ったことを踏まえて、これならできそう！と思うアイデアをやってみる準備をしよう！！！！

2023年12月7日（木）
19時00分～21時00分



畑田地区では、「畑田地区ってどんなところ？-地域の魅力と課題を見つけよう！-」をメインテーマに、地域の更なる活性化を目指して、全3回(1回目は、令和5年10月3日(火)に実施)のワークショップを実施しています。令和5年11月6日(月)に開催した第2回のワークショップでは、4つのグループに分かれて2つのワークと1つのミニ講座を行いました。



第2回 実施概要

日 時：2023.11.6 (月)
19:00~21:00
会 場：畑田コミュニティセンター
参加者数：13人

プログラム

- 1：前回の振り返り
- 2：色紙ゲーム (アイスブレイク)・グループ分け
- 3：参加者自己紹介
- 4：ワーク①：テーマごとに前回出た意見を振り返ろう！
- 5：ミニ講座「他の地域ではどんなことをして、魅力を伸ばしているの？」
- 6：ワーク②：いいな！やってみよう！できそう！と思ったことを話し合おう
- 7：グループ発表 (全体共有)

ワーク 1 テーマごとに前回出た意見を振り返ろう！

1回目のWSより出た意見を下記記載の4つのテーマに分類し、参加者の関心のあるテーマごとにグループに分かれ、意見交換を行いました。ワーク1ではテーマに関する畑田地区の魅力と課題、さらには将来像についても意見を出し合いました。各グループでWSの1回目に出た意見も踏まえながら、テーマに関する現在の状況などを共有しました。それぞれの意見を模造紙や地図に付箋もしくは、直接ペンで書き込んでいき、模造紙はたくさんのアイデアで埋め尽くされました。

テーマ①	テーマ②	テーマ③	テーマ④
若い人が参加しやすい組織づくり	魅力ある行事等の企画・実施	みんなで交流する場・機会の創出	災害に強い地域をつくる

ミニ講座

他の地域ではどんなことをして、魅力を伸ばしているの??

ミニ講座では、4つのテーマの参考になる他の地域での「参加を呼び掛ける」「場をより楽しくする」「活動を続けやすくする」「災害に強い地域にする」ためのアイデアについて学びました。負担の少ない方法での取組みの実施方法や学生と協力してイベントを行っている事例、参加したくなるような仕組みづくりを行っている事例など、茨木市や他市で行われているちょっとした工夫について学べる良い機会になりました。

ワーク 2

いいな！ やってみたい！ できそう！ と思ったことを話し合おう

ワーク2では、講座を踏まえて、ワーク1で出し合ったテーマに関する「魅力」はさらにのびし、「課題」は改善でき、「将来こうなったらいいな」という意見に近づけるような、「いいな！」「やってみたい！」「これならできそう！」と思えたことを話し合いました。

○各グループの話し合い内容（抜粋）

テーマ	ワーク1の主な意見			ワーク2の主な意見
	魅力	課題	将来	やってみたい！等と思ったこと
若い人が参加しやすい組織づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○コロナ後の地域活動はゼロベースでリスタートしている状況のため、新しいことができる！ ○若い人も何かあれば集まりたい！ 	<ul style="list-style-type: none"> ○行事を盛り上げる自治会になってない？ ○名前を知らない人もいる ○仕事と家庭の間に地域活動が難しい ○若い人の参加が続かない 	<ul style="list-style-type: none"> ○参加しやすいよう集まりの開始時間を20時スタートにする ○行事ありきではなく、何のためにという目的を明確に ○子どもの頃から自治会活動に参加する仕組み 	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会という名前はやめて、楽しい「○○会」 ○集まるきっかけがゆるい方が集まりやすい ○情報の伝え方も工夫する ○共有だけでなくコミュニケーションの場としてオンラインをつかう
魅力ある行事等の企画・実施	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な行事を既に行っている(グランドゴルフ大会・ポッチャなど) 	<ul style="list-style-type: none"> ○日程の調整、時期を見直す必要がある ○暑い時に準備が大変 ○準備をする人手を集める方法(特に土日)を工夫する必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> ○畑田といえば「ポッチャ」「グランドゴルフ」といったイメージを定着させる ○子供達の思い出になる行事の企画・実施 ○市内どこもやっていない企画を一番のりで！ ○ふれあい祭りの開催時期を変更！ 	<ul style="list-style-type: none"> ○畑田ならではのつくる(畑田バーガーや手抜きうどんのPR) ○文化展開催期間中にスポーツイベント実施！ ○映画鑑賞会の実施(親子参加) ○弁天さんを活用したウォークラリーや松ぼっくり拾い
みんなで交流する場・機会の創出	<ul style="list-style-type: none"> ○交流する場はある ○子育てサロンや75歳以上単身高齢者のお食事会など 	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な人が自由に参加しづらい ○いつもメンバーが一緒になっている。 ○横のつながりが無い 	<ul style="list-style-type: none"> ○誰がやるか/資金はどこから確保できるかという課題を解決する必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> ○ウォークラリーやわんわんパトロールなどできることからやってみる ○大学生との連携を試みる
災害に強い地域をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ○パトロールには若い人も参加する ○自主防では、火事対策、避難所運営マニュアルなどを行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢化により青パトが終了した ○氾濫や水害の危険性がある ○地域の情報が分からない 	<ul style="list-style-type: none"> ○避難所の見直しが必要 ○防犯カメラの設置 ○自治会未加入者への対応をどのようにすればよいか考える必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> ○わんわんパトロールは楽しそう！ ○特殊詐欺対策を進める必要がある

次回ワークショップは12月7日(木)。今回話し合ったいいな！ やってみたい！ できそう！ を実現するためには何が必要になるか、どうしたら実現できるかを話し合い、実現に向けた準備を行います。

第3回資料

「これならできそう！」と思うアイデア をやってみる準備をしよう！

第3回

2023年12月7日（木）19:00-21:00



ワークショップ全3回について

	各回のテーマ	各回の目的
第1回	畑田地区ってどんなところ？	・畑田地区の「魅力」や「課題」、 「将来はこんな畑田がいいな」ということを話し合います。
第2回	もっと魅力的な畑田地区にするためのアイデアを学ぼう！	・ほかの地域で行われている、気軽にできる・楽しんでできる活動のアイデアを学び、自分たちができそうなことを話し合います。
第3回	「これならできそう！」と思うアイデアをやってみる準備をしよう！	・これまで考えたアイデアをもとに、「できそう！」「やってみたい！」と思える取組を行うために、何をするか話し合います。

全3回のワークショップを通して、各組織の連携を促進していくこと、協議の場づくりを行うことを目的としています。



本日のプログラム

「これならできそう！」と思うアイデア
をやってみる準備をしよう！

- 19:00- 開会挨拶・ワークショップの説明など
- 19:05- 前回の振り返り
- 19:15- 協議会について
- 19:25- テーマの確認
- 19:30- グループワークの進め方の説明
- 19:35- グループワーク①
- 20:05- グループワーク①の発表
- 20:10- グループワーク②
- 20:45- 発表・全体共有



第2回ワークショップのまとめ(1班:若い人が参加しやすい組織づくり)

	魅力	課題		将来
地域の現状	<ul style="list-style-type: none"> ○コロナ後の地域活動はゼロベースでリスタートしている状況のため、新しいことができる！ ○分からないことは人に聞いたり、資料を見たりして状況を確認している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○行事を盛り上げる自治会になっていない？ ○名前を知らない人もいる ○若い人の参加が続かない ○声は掛けても集まってくれない ○やろうとしても諦めてしまってきた 	工す夫	<ul style="list-style-type: none"> ○集まりの開始時間を20時スタートにする ○若い人が集まれる組織・場があれば、自治活動に参加しやすくなるのでは
若い人の現状	<ul style="list-style-type: none"> ○若い人も何かあれば集まりたい！ ・同世代でクリスマスパーティーをした。 	<ul style="list-style-type: none"> ○仕事と家庭の間で地域活動が難しい ○若い世代では行事が多すぎて、新しいことに取り組む時間と気力が無い 	参加したくなる工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○あの人に会いたいから参加です！と思わせる ○全て体制を若い人に変え、自由にしてもらう ○行事ありきではなく、何のためにといった狙いを定められると良い ・地域活動の必要性を感じやすい「防犯や防災のために」という狙いを定める ・狙いを定めると主婦層の方が必要性に気付きやすくなるため、主婦層のハートをつかむ！

できそう！やってみたいな！と思ったこと

若い人を支援する仕組み	<ul style="list-style-type: none"> ○継続性を取り払う(一回すると継続的にしないといけないのでは。。という懸念を払しょく) ○行事の見直し ○自治会という名前はやめて、楽しい「○○会」 ○集まるきっかけがゆるい方が集まりやすい ○若い人の集まりからスタート ○考えたことが実現できる仕組み ○地域は若い人たちのやりたいことを応援するよ！スタンス ○応援してもらえる場 ○一方で地域のバックアップはあると良い ○情報の伝え方も工夫する ・LINE等もつかい、オンラインでもつながるために、リアルつながりも必要 ・共有だけでなく、コミュニケーションの場としてもオンラインが機能すると良い ・ITもいいけど紙も大切
若い人が参加するメリット	<ul style="list-style-type: none"> ○狙いを定める！ ・必要性の高い「防犯・防災」に狙いを定める ○活動のとりかかりを「子ども」も関係する形をとる ・子どもの参加する習い事・スポーツ団体を巻き込み活動を行う ・子どもの意見(やってみたいこと)も聞いてみる



第2回ワークショップのまとめ(2班:魅力のある行事等の企画・実施)

	魅力	課題		将来
現状	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な行事を既に行っている ・グランドゴルフ大会(老人会/文化展) ・ポッチャ大会 ・地区リクリエーション ・ふるさと祭り ・文化展 ・西中学校区の集い(4小学校の子供が参加) ・水鉄砲とキャンプファイヤー(青健協主催) ・山野草ハイキング(コロナで中止中) ・野菜の販売(地域によって) ・自治会の大掃除の後のとん汁 ・放課後の子供教室は、学童に行っていない子供達が遊べる 	<ul style="list-style-type: none"> ○集客する方法 ○日程の調整、時期を見直し ○暑い時に準備が大変 ○文化展の作品が少ない 	リ 煙 田 な ら う で は の イ メ ー ジ を つ く	<ul style="list-style-type: none"> ○子供達の思い出になるような行事の企画 ○雨天中止にならない行事 ○市内でどこもやっていない企画を一番のりで! ○畑田といえば、「ポッチャ」「グランドゴルフ」といったイメージを定着させる
体制	<ul style="list-style-type: none"> ○大きなイベントでは地元企業(クロネコ,Amazon)が手伝ってくれている 	<ul style="list-style-type: none"> ○準備をする人手を集める方法(特に土日) ○スポーツの指導者、リーダーがいない 	体 制	<ul style="list-style-type: none"> ○色々な会社、団体との集まりにしたい

できそう! やってみたい! と思ったこと

融合 事との 既存行	<ul style="list-style-type: none"> ○文化展開催期間中にスポーツイベント実施! ・文化展の時に、「グランドゴルフ」「ポルダリング」「健康相談・チェック」福祉を巻き込む ○グランドゴルフをもっと本格的に極める!(指導者を呼ぶ)
新規 行事	<ul style="list-style-type: none"> ○映画の鑑賞会の実施(親子参加) ○ウォークラリー(みんなで健康に!) ○ウォークラリーはオリエンテーションもやりながら楽しくやる! ○弁天さん周辺でウォークラリー(クイズラリー) ○茨木市の自然を活用した行事 ○弁天さんで松ぼっくり拾いをする
減 負担 軽減	<ul style="list-style-type: none"> ○ふれあい祭りの開催時期を変更!(8月→秋10月、11月) ○ふれあい祭り10時~12時半でお昼から宴会!



第2回ワークショップのまとめ(3班:みんなで交流する場・機会創出)

	魅力	課題		将来
現状	<ul style="list-style-type: none"> ○交流する場はある ・子育てサロン(多くて10組参加) ・75歳以上単身高齢者のお食事会 ・文化展 ・体育祭 ・ニュースポーツ(ポッチャ・グランドゴルフ) ・ふるさと祭り ・健康講座 	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な人が自由に参加しづらい ・いつもメンバーが一緒 ・一人では来づらい状況にある ・参加したことが無い人が参加するきっかけづくりができていない 	リ ニ ュ ー ア ル す る た め に 必 要 な こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○誰がやるか ○資金はどこから確保できるか(→ちなみに、地域自治組織で使える費用を市から支援してもらえる) ○一人でも参加できる集まりがあるといい
体制 等		<ul style="list-style-type: none"> ○会長、組長が毎年変わるから新しいことを何もしない ○横の繋がりが無い ○繋がるきっかけがない ○イベント備品購入はお金が出るのをみんな知らない 		

できそう! やってみたい! と思ったこと

新規 取組	<ul style="list-style-type: none"> ○初めての人でも入りやすく、すぐできそうなことからやってみる ・ウォークラリー ・わんわんパトロール ○お年寄りの健康づくり ○おすすめスポットの紹介(春日神社、倍賀)
他 との 連携	<ul style="list-style-type: none"> ○大学生との連携(立命館、追手門、梅花) ○大学生、若い人とお話する場をつくる ○若い発想をもらう



第2回ワークショップのまとめ(4班:災害に強い地域をつくる)

	魅力	課題		将来
防犯対策の現状	<ul style="list-style-type: none"> ○畑田の治安、防犯灯が点いて、安全にはなっている ○パトロールは若い人も参加している ○防犯協会の支部で、8月末、12月末にパトロールをしている(多くの人が集まる) 	<ul style="list-style-type: none"> ○50代くらいの中層層がパトロールに出てきてくれない ○通学路には防犯カメラがあるが、他市に比べて少ない ○青色パトロールの活動主体が高齢により昨年で活動が終了した 	人的な負担の軽減	<ul style="list-style-type: none"> ○防犯カメラの設置 ・カメラがあったら心理的な安心、犯罪の予防につながる ○水路の管理の自動化
防災対策の現状	<ul style="list-style-type: none"> ○自主防は火事対策、避難所運営マニュアルなどしている ○自主防災は活発に活動している ○古くなっていった文化住宅はなくなった 	<ul style="list-style-type: none"> ○茨木川の氾濫・水害の危険性 ・水害になったら、学区が川で分かれてしまう ・坂の下で水が溜まりやすい(集中豪雨) ・地域内に水路がいくつか通っている ○水害時の対応 ・水利組合の方も高齢でいざという時に不安(鍵を開けてもらえるか) ○避難 ・避難所では自治会加入・未加入関係ない ・民生委員が高齢者を訪問しても出ない人 	現状の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ○避難所の見直し ・南の方は工業高校(アマゾンも)に行った方が良いのでは？
情報共有	<ul style="list-style-type: none"> ○畑田は新興住宅地で新旧住民間の仲が良い 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の情報が分からない ・子どもが大きくなってから引っ越してきたため、地域のことがよくわからない ・近所の子がよくわからず自治会に入った 	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会非加入者への対応 ・自治会に入っている人と入っていない人の情報伝達をどうすればよい？
自治会加入状況		<ul style="list-style-type: none"> ○小学校を卒業したら自治会をやめてしまう人もいる ○自治会に入っていない人もゴミは出すけどマナーも悪く掃除もしない 	クリアする必要がある	

できそう！ やってみたいな！ と思ったこと

- 防犯
- わんわんパトロールなら楽しそう！
 - (・庭の水やりを夕方にやりましょうという取組は今もやっている！)
 - 特殊詐欺の対策の進め方

次なる茨木へ。
茨木には、次がある。

地域協議会の役割について

地域協議会とは・・・

地域の総合窓口であり、組織間の連携・協働を促す機能を担う組織

- 地域組織が各々単独で動くことによって、地域力が有効に機能しない
 - ➡地域組織(活動)が連携し、同じ方向性のもと活動していく
- 地域に関わる団体の調整機能が必要
 - ➡多様な人びとが関わり合う仕組みづくり

地域協議会 (地域自治組織)

<地域づくりのプロセス>

地域課題 ⇄ 話し合い ⇄ 事業活動 ⇄ 評価

※地域課題とは、良いものも悪いものも課題として捉える。

人材の発掘・育成



地域の結束力の向上

地域課題解決の活性化

次なる茨木へ。
茨木には、次がある。

畑田地域づくり協議会への財政支援について

■地域協議会(地域自治組織)を対象とした交付金・補助金制度について

①地域活動支援交付金

地域協議会の身近な地域課題を自主的に解決するとともに、地域の状況に応じた特色ある活動を促進し、住みよい地域づくりを推進することを目的としている。

畑田地域づくり協議会 800,000円(令和5年度)

<活用事例(R4)>

- ・地域情報誌の発行
- ・地域活動事業の実施
(スタッフTシャツの作成・ボルダリング実施)
- ・地域相談事業の実施(福祉相談など)

活動交付金

2千人未満	200,000円
2千人~6千人未満	300,000円
6千人~1万人未満	400,000円
1万人以上	500,000円

運営交付金

500,000円

②地域行事開催等補助金

地域協議会が行う地域行事等に対し、市が補助金を交付することにより、地域の住民相互の交流を図り、当該地域の生活文化の振興に資することを目的としている。

畑田地域づくり協議会 607,200円(令和5年度)

<活用事例(R4)>

- ・文化展、地区レクリエーションの実施
行事保険加入、備品・消耗品の購入、アルコール消毒
(コロナ対策用)等

従来の公民館区実事業補助金、スポーツ大会関係事業補助金と同様
※ふるさと祭り、地区体育祭、文化展等の従来の地域行事に活用できるほか、新たな地域行事を開催する場合もかつようできる。



地域活動の活性化に向けたワークショップ

[畑田地区]

若い人が参加しやすい組織づくり

アイデアの種

- 若い人自身が若い人だけで集まる取組をやってみよう！
(クリスマス会/子どもを主役とした集まり)
- 若い人がやりたいことを応援する仕組みを考えてみよう！
- 若い人が自治会に参加するメリットを感じてもらえる取組をやってみよう！
(子どもを巻き込んだ取組/防犯・防災などの必要な取組)
- 若い人が参加しやすい組織づくりを考えてみよう！
(他の活動まで巻き込まない、まずは単発の関わり方から)



魅力ある行事等の企画・実施

アイデアの種

- 親子で参加できるイベントを開催してみよう！
- 地域に住む多様な世代の人が参加できるイベントを開催してみよう！
- 行事で畑田らしいイメージをつくろう！
- 今実施しているニュースポーツ（ボッチャやグランドゴルフ）のイベントを定期的を開催してみよう！



みんなで交流する場・機会の創出

アイデアの種

- 初めての人でも参加しやすいことからやってみよう！
（地域の人のおすすめスポットを巡るウォークラリー）
- 今ある場（コミセンなどでの講座）のリニューアルをしてみよう！
- 若い世代（大学生）とも連携してみよう！



前回までは「災害に強い地域をつくる」がテーマでしたが、防犯の内容も話題に挙がっていたので、テーマを変えてみました！

安全・安心な地域をつくる

アイデアの種

- 災害時の情報発信の仕方を考えよう！
- 日々の活動と組み合わせてできる防犯・防災対策をしてみよう！
(わんわんパトロール)
- いざ！という時のためにみんなで避難訓練をしてみよう！



移動したい人は移動してください

1班 若い人が参加しやすい組織づくり

2班 魅力のある行事等の企画・実施

3班 みんなで交流する場・機会創出

4班 安全・安心な地域をつくる



テーマ設定

若い人が参加しやすい組織づくり

アイデアの種

- ・若い人自身が若い人だけで集まる取組をやってみよう！
(クリスマス会/子どもを主役とした集まり)
- ・若い人がやりたいことを応援する仕組みを考えてみよう！
- ・若い人が自治会に参加するメリットを感じてもらえる取組をやってみよう！
(子どもを巻き込んだ取組/防犯・防災などの必要な取組)
- ・若い人が参加しやすい組織づくりを考えてみよう！
(他の活動まで巻き込まない、まずは単発の関わり方から)

安全・安心な地域をつくる

アイデアの種

- ・災害時の情報発信の仕方を考えよう！
- ・日々の活動と組み合わせてできる防犯・防災対策をしてみよう！
(わんわんパトロール)
- ・いざ！という時のためにみんなで避難訓練をしてみよう！

テーマ設定

魅力ある行事等の企画・実施

アイデアの種

- ・親子で参加できるイベントを開催してみよう！
- ・地域に住む多様な世代の人が参加できるイベントを開催してみよう！
- ・行事で畑田らしいイメージをつくろう！
- ・今実施しているニュースポーツ（ボッチャやグランドゴルフ）のイベントを定期的に開催してみよう！

みんなで交流する場・機会の創出

アイデアの種

- ・すぐできることからやってみよう！
(地域の人のおすすめスポットを巡るウォークラリー)
- ・今ある場（コミセンなどでの講座）のリニューアル
- ・若い世代（大学生）とも連携してみる！

今日話し合うテーマは？

若い人が参加しやすい組織づくり

安全・安心な地域をつくる

魅力のある行事等の企画・実施

みんなで交流する場・機会創出

次なる
茨木へ。
茨木には、次がある。

グループに分かれて座ってください

1班

若い人が参加しやすい組織づくり

安全・安心な地域をつくる

2班

魅力のある行事等の企画・実施

みんなで交流する場・機会創出

次なる
茨木へ。
茨木には、次がある。

話し合いの準備運動 (アイスブレイク)

手上げゲーム

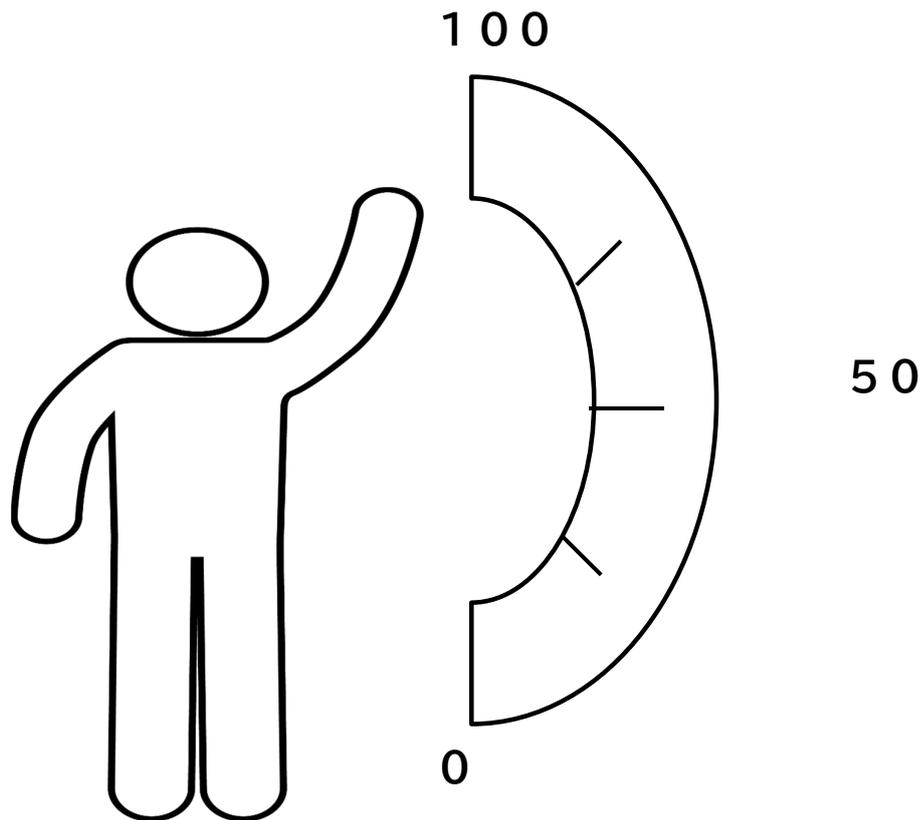
いくつかの質問に対する答えを
手を挙げる角度で表現するゲーム
周りの人の手の角度も見てくださいな

接触せずに・・・

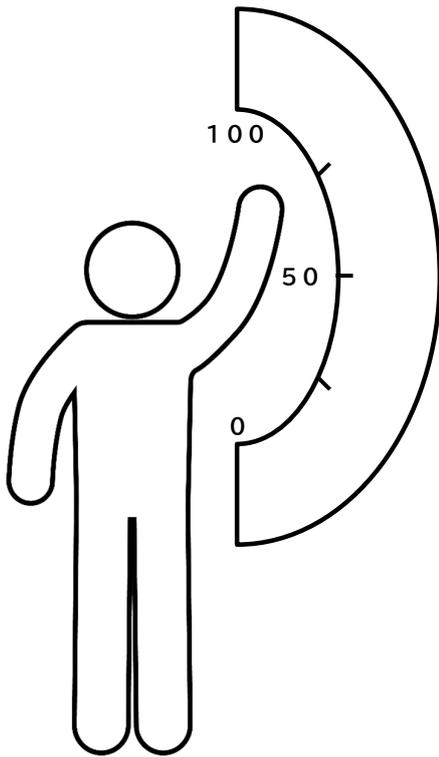
身体も少し使えて・・・

参加者の考え方の一端が見える

次なる
茨木へ。
茨木には、次がある。

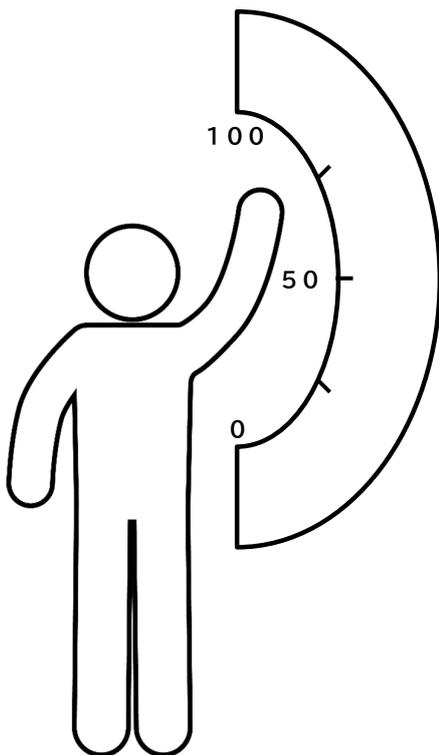


次なる
茨木へ。
茨木には、次がある。



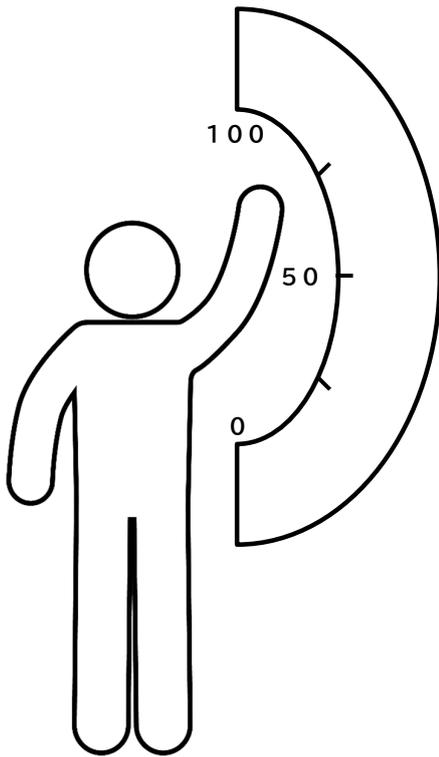
問1)
今日の調子はどのくらい
でしょうか？

次なる
茨木へ。
茨木には、次がある。



問2)
茨木市の高齢化率（65歳以上人口率）
は何%でしょうか？

次なる
茨木へ。
茨木には、次がある。



問2)
茨木市の高齢化率（65歳以上人口率）
は何%でしょうか？

→正解) 24.3%

* 住民基本台帳（2023年7月26日現在）

ちなみに・・・

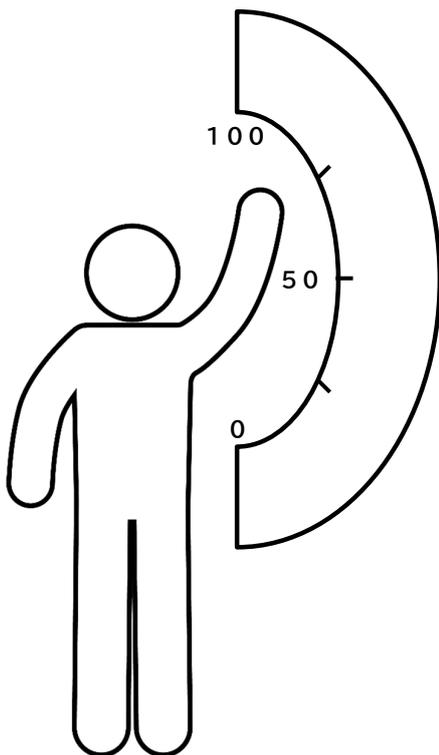
全 国：29.1%

* 総務省・住民基本台帳（2023年7月26日現在）

大阪府：27.3%

* 住民基本台帳（2023年7月26日現在）

次なる
茨木へ。
茨木には、次がある。



問3)
畑田地区への愛着、
LOVE指数は何%でしょうか？

次なる
茨木へ。
茨木には、次がある。

グループでの話し合い

- ①前回出たアイデアをふまえつつ具体的にしてい
くアイデアを考えよう！
- ②アイデアを実現するためのワークシートをつくろう

話し合いのゴール（目的）

前回でたアイデアを参考にしつつ、
テーマごとに自分たちができそうなことを考えましょう！



話し合いで大切にしたいこと

1. みんなの話は反対せずフムフムと聞こう
2. 自分の話は簡潔にサクサクと話そう
3. 思っていることをドンドン出そう
4. みんなで力を合わせてワイワイ盛り上がろう
5. 楽しくニコニコと参加しよう

グループにはファシリテーターと呼ばれる、話し合いのサポート役がいます。
（話をしやすい場にしたり、整理したり、より良い話し合いを促す人です）



話し合いで大切にしたいこと

合意形成の場ではありません

アイデアを出し合い方向性を見出す場

役割や権限・責任は
一旦横に置いておきましょう！



グループに分かれて話そう

自己紹介

①名前

②所属団体等と
活動内容

③各テーブルで自由に



グループワーク①

①前回出たアイデアをふまえてつづ
具体的にしていってアイデアを考えよう！

若い人が参加しや
すい組織づくり

みんなで交流する
場・機会の創出

魅力ある行事等の
企画・実施

安全・安心な地域
をつくる



ワーク①の発表



グループワーク②

②アイデアを実現するためのワークシート
をつくろう

実際にアイデアを実現するためには、
どういうことがあるかな??

次なる
茨木へ。
茨木には、次がある。

グループワーク②

○班	
タイトル	
活動の目的	
(既存取組) 取組のよいところ ／課題 (新規取組) 資源のいいところ ／もっていないところ	
具体的な内容 (やること)	
誰がやる?	
最初の一步 (何からはじめる?いつから?)	
スケジュール (いつ、どのように進めるか)	
参加した皆さんからのメッセージ	

次なる
茨木へ。
茨木には、次がある。

発表・意見交換

各グループから、話し合った結果を報告

1 グループ3分程度でお願いします



計3回のワークショップに参加いただき、
ありがとうございました！
皆さんで出し合ったアイデアを
とりまとめて地域にお渡しします。

地域の中でも小さなアイデアを
出し合ってよりよい活動づくり・
新たな場づくりに繋げていきましょう！



畑田

HATAKEDA

地区

地域活動の活性化に向けたワークショップ

VOL. **03**

ニュースレター

令和5年12月

発行：茨木市市民文化部地域コミュニティ課

畑田地区では、「畑田地区ってどんなところ？-地域の魅力と課題を見つけよう！-」をメインテーマに、地域の更なる活性化を目指して、全3回(第1回は、令和5年10月3日(火)、第2回は令和5年11月6日(月)に実施)のワークショップを実施しています。令和5年12月7(木)に開催した第3回のワークショップでは、第2回のワークショップに引き続き、4つのグループに分かれて2つのワークを行いました。



第3回 実施概要

日時：2023.12.7 (木)
19:00~21:00
会場：畑田コミュニティセンター
参加者数：13人

プログラム

- 1：前回の振り返り
- 2：協議会について
- 3：テーマの確認とアイスブレイク
- 4：ワーク①：前回出たアイデアをふまえて、具体的にしていこう！
- 5：具体化するアイデアの発表
- 6：ワーク②：アイデアを実現するためのワークシートをつくろう
- 7：グループ発表(全体共有)
- 8：閉会



ワーク 1 前回出たアイデアをふまえて、具体的にしていこう！

2回目の WS から分類していた下記の4つのテーマで、それぞれどのようなアイデアを具体的にしていきたいのか、意見交換を行いました。各グループでWSの2回目に出た意見も踏まえながら、テーマに関するアイデアや、その中からさらに具体的にしていきたいことなどを共有しました。

	テーマ①	テーマ②	テーマ③	テーマ④
テーマ	若い人が参加しやすい組織づくり	魅力ある行事等の企画・実施	みんなで交流する場・機会の創出	安全・安心な地域をつくる
具体的にしていこう！アイデア	・若い人の話をきいてみよう！	・ポッチャの普及と拡大を目指そう！ ・スポーツ以外でイベントを実施しよう！	・ウォークラリーを実施しよう！	・情報共有ができるプラットフォームをつくろう！

ワーク 2 アイデアを実現するためのワークシートをつくろう

ワーク2では、ワーク1で出した、具体的にしていけるアイデアの実施に向けた準備として、実際に「誰がその取組を行うのか」「最初にまずは何をするか」といったことを考えました。

○各グループの話し合い内容（抜粋）

テーマ	タイトル	活動の目的	具体的な取り組み内容	最初の一步	誰がやる？
若い人が参加しやすい組織づくり	○若い人の話を聞こう！	○まずはどうすれば若い人が来てくれるのかを知る ○若い人の「やりたい」を引き出す ○若い人に自治会の必要さを感じてもらおう	○若い人が自然と行ってみたいと思わせるような場をつくる ○負担なく取り組めるように、既存のイベントを変える ○若い人が集まるイベントの実施	○イベントのマニュアル作成を行う ○一つ一つのイベントのゴールや目的を伝える	○若い人が中心に実施し、経験者がバックアップを行う。
魅力ある行事等の企画・実施	○ポッチャの普及拡大	○畑田といえば、「○○」といった、イメージを定着させる	○既存取組の強化 ・ポッチャ大会を年2回開催 ・毎週日曜日の公民館講座の参加人数を増やす ・大会参加チームを増やす ○新規取組の実施 ・授業でポッチャを教えてもらう	○ポッチャ大会を6月開催に加えて2月か3月に追加で実施する ・親子チームを結成して参加してもらう ・小学校にチラシをまく	
	○スポーツ以外で来年やりたいイベントの実施		○親子での映画観賞会 ○ウォークラリー ○山野草ハイキングの復活		
	○ふれあいまつりの負担軽減		○ふれあいまつりは、10月の10時から14時に開催日時を変更		
みんなで交流する場・機会の創出	○ウォークラリーを実施しよう！	○はじめての若い世代・子どもと地域が関わるきっかけをつくる ○畑田を知るきっかけをつくる	○お年寄りの方にスポットにまつわる話をしてもらい、各スポットでスタンプをもらう ○各スポットで記念撮影を行う	○スケジュールとしては、春か秋、7月頭か6月の地域活動が少ない時期に実施	○青健協+やりたい人 ○老若男女問わず、親子でも楽しめるイベントにする
災害に強い地域をつくる	○プラットフォームをつくって情報を共有しよう！	○情報を吸い上げて、安全・安心な地域をつくる ○人と人とのつながりをつくる	○道路の危険箇所の収集 ○犯罪情報・動物情報の収集 ○既存のプラットフォームの情報を伝える	○協議会で発議しよう！	○防犯、防災は既存団体が実施する！ ○道路やゴミなど、その他のテーマの受け先をどうする？ ○歴任の人は対応できる新米の人のサポートをしよう！

全3回のワークショップにご参加いただいたみなさま、ありがとうございました。

地域の中でも小さなアイデアを出し合ってよりよい活動づくり・新たな場づくりにつなげていきましょう！

各回まとめ

第1-3回ワークショップのまとめ

畑田地区ってどんなところ？ -地域の魅力と課題をみつけよう！-

- ・地域内での活動状況や内容について、様々な人が知ることができる状況にする
- ・地域内で展開される活動の横断的なつながりを構築する
- ・畑田地区の魅力や課題に対して認識してもらい、まちのことを考えるきっかけにする

1

	テーマ	話し合った内容	意見の内容
1回	畑田地区ってどんなところ？	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の魅力と課題 ・将来どんな地域になってほしいか 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の若い担い手が増えてほしい ・子どもがまちで遊んでほしい ・災害のリスクに対応したい
2回	もっと魅力的な畑田地区にするためのアイデアを学ぼう！	<ul style="list-style-type: none"> ・他の地域のアイデアを学んだうえで、やってみたい！できそう！と思ったこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人が参加しやすい仕組みやメリットを導入したい！ ・畑田ならではのイメージをつくりたい！ ・初めて活動に参加する人も参加しやすいイベントを実施する
3回	これならできそう！と思うアイデアをやってみる準備をしよう！	<ul style="list-style-type: none"> ・具体化していきたいアイデアの整理 ・アイデアの具体化のために必要なこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人の意見を聞く機会をつくりたい ・ポッチャを普及・拡大したい ・ウォークラリーを実施したい ・自治会長からのスムーズに情報共有できる体制を構築したい

2

第1回ワークショップのまとめ

畑田地区ってどんなところ？ 畑田地区の現状について話し合いました

ワーク1

畑田地区の
「魅力的なところ」や「課題」を教えてください

ワーク2

「魅力」や「こうなったらいいな」ということをふまえて、

将来の畑田は・・・

- ① 魅力を磨いて、もっとこうなしてほしい
- ② もっとこんなことしたい
- ③ こうなったらいやだな

3

第1回ワークショップの意見

1 班

	ワーク1		ワーク2
	畑田地区の魅力	畑田地区の課題	将来の畑田地区は・・・
地域内のつながり (地域内の活動)	<ul style="list-style-type: none"> ○新しいイベントに(キャンプファイヤー・ボルダリング・月見)積極的にチャレンジしている ○青健協が行う子どもイベントの参加者は多い ○各種団体が主体的に動くことが多い。 ○中学校区(4つの小学校区からなる)は仲がいい ○最近子育て世帯が増え、地域の行事にも協力的 ○お祭りがある 	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢化が進んでいる(役員も) ○子ども会や老人会が1つしかない ○子ども会のイベントに参加してくれる子どもが少ない ○担い手が不足している ○コロナ禍で引継ぎが上手くいかず、自治会の全体像がつかみづらい ○若い世代は手伝いには来てくれるが担い手にはなってくれそうにない ○若い世代は自治会の活動と仕事との関係が難しい。 ○子どもがいないと校区すらも分からない 	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢になっても負担がないやり方で続けていきたい ○若い担い手が来てほしい ○新しいアイデアや若い世代がやりたいことが積極的にできる地域にしたい ○もっとたくさんの若い世代・子育て世代に住んでほしい ○世代をいかにつないでいくか
居場所・遊び場	<ul style="list-style-type: none"> ○公共施設(中央図書館・きらめきホール)が豊富 		<ul style="list-style-type: none"> ○子どもがまちで遊んでほしい
立地・生活利便	<ul style="list-style-type: none"> ○インターが近い ○コンビニ多い 	<ul style="list-style-type: none"> ○渋滞が多い ○スーパー少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ○スーパーが増えてほしい。 ○お年寄りの買い物しやすいといいたい
環境	<ul style="list-style-type: none"> ○農地があり、ホッとする ○新鮮な野菜が安く買える ○貸し農園が多い 		
防犯・防災	<ul style="list-style-type: none"> ○河川氾濫の心配 	<ul style="list-style-type: none"> ○防犯面を強化したいものの、青パトは高齢化でできなくなる 	<ul style="list-style-type: none"> ○防災訓練をしたい ○災害別の避難所を把握できれば ○小学校の通学路見直し(ホテル街が通学路になっている)

	ワーク1		ワーク2
	魅力	課題	将来
(地域内のつながり 地域内の活動)	<ul style="list-style-type: none"> ○ふるさとまつりの子どもの参加率が高い ○文化展の時にボルダリングをして子どもが多かった。 ○校区内のイベントが盛ん 	<ul style="list-style-type: none"> ○活動を行う人の高齢化が進んでいる ○地域行事に若い人が少ない ○子どもフェスティバルがなくなった ○地区運動会の規模が縮小した ○文化展の出展者が少ない ○コロナの影響により活動の引継ぎがうまくいっていない 	<ul style="list-style-type: none"> ○活動の若い担い手が増えてほしい
遊び場・居場所	<ul style="list-style-type: none"> ○公共施設(中央図書館・きらめきホール)が豊富 ○小学校のグラウンドが広い ○各種団体が小学校のグラウンドをつかっている 	<ul style="list-style-type: none"> ○公園でのボール遊びが禁止されているため、地域でボール遊びができる場所がない 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもがボール遊びをできる場をつくる(※実は小学校のグラウンドでできる)
立地・生活便利	<ul style="list-style-type: none"> ○立地がよく市内のイベントにも参加しやすい ○交通の利便性が高い(駅や高速が近い) 	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校が西門から入れず通学路が遠回りになる ○スーパーが少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ○中学校での給食が開始してほしい ○スーパーがほしい
環境	<ul style="list-style-type: none"> ○(さくら通りの)遊歩道は車がとおらないから歩きやすい ○新しく家をたてられる場所が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ○春日の方は空き家が多くなっている ○子どもの数が少ない ○転入者が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ○防犯の取組の周知
防犯・防災		<ul style="list-style-type: none"> ○交番がない ○青バトが廃止された ○交通量が多く横断しにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域に交番が欲しい ○警察のパトロールを強化する ○水害が心配なため、治水整備をしてほしい ○通学路に位置するホテル街がなくなってほしい
文化財	<ul style="list-style-type: none"> ○春日神社の石燈籠が、国の重要文化財になっている 	<ul style="list-style-type: none"> ○春日神社の夏祭りがなくなった 	

5

	ワーク1		ワーク2
	魅力	課題	将来
地域内のつながり (地域内の活動)	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校との関係性が高い ○地域の仲が良い 	<ul style="list-style-type: none"> ○公園(みんなでくつろげる場や集まる場)がない ○和気あいあいとしているが、若い人が入りづらい ○役員が固定化されている ○老人会がないところもある ○話し合いの場に若い人が少なすぎる ○若い人が入りにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ○老人会にみんなが参加できるような工夫をしたい ○高齢化が進んでも活動に参加できる地域にしたい ○みんなが集まれる場をつくる ○居場所づくりをしたい ○活動に若い人が参加できるように、若い人の声を聞いてみたい ○若い人をまきこみしたい ○地域の体制づくりを立て直す(まずは集まれる状態をつくる) ○体制では、年代のバランスをとれるようにしたい ○末端まで情報が届くような体制づくりを行いたい
遊び場・居場所	<ul style="list-style-type: none"> ○公共施設が豊富にある 	<ul style="list-style-type: none"> ○公共施設があっても利用者は少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ○施設利用者を増やす(きらめき講座の内容を変えてみる)
立地・生活便利	<ul style="list-style-type: none"> ○市街地が近い ○高速のインターが近い 	<ul style="list-style-type: none"> ○スーパーがない ○駅が遠い ○渋滞が多い 	
環境	<ul style="list-style-type: none"> ○住宅地としての人気がある 	<ul style="list-style-type: none"> ○近所づきあいのトラブルも発生している 	

	ワーク1		ワーク2
	魅力	課題	将来
地域内のつながり(地域活動)	<ul style="list-style-type: none"> ○仲がいい ○いろいろな活動があり、高齢者が家からできるきっかけにもなっている ○子どもの支援活動が活発 ○「地域の子どもは地域で見守る活動(12年目)」に取り組んでいる 	<ul style="list-style-type: none"> ○若い世代とのつながり方が難しい ○自治会に入らない人や抜ける人がいる。 ○役員や活動に参加する人が限られている ○賃貸住宅が多く、地域活動と一緒に取り組める人が少ない ○地域の子どもは地域で見守る活動のメンバーが1度も変わらない ○熱中症対策やコロナで運動会が縮小した ○子どもが大きい声で遊ぶと怒る人がいる 	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会の活動に参加するのは初めてだけど緊張するため、敷居を下げて若い人が参加しやすくなってほしい ○若い世代にきてもらうために、子どもをきっかけにして親に活動に参加してもらえる方法を探りたい。(今年は運動会で自治会に入っていない子供にもお弁当を配布する予定のため、上手く機会を活用できれば)
遊び場・居場所	<ul style="list-style-type: none"> ○公共施設が豊富 ○団体の会議やサロンが行われるコミセンもある！ ○公園が多い ○公園の草刈りには多くの人参加する ○公園は保育所も利用している 	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者中心に公園などの草刈り活動を行っている 	
立地・生活便利		<ul style="list-style-type: none"> ○名神に歩道がない 	
環境	<ul style="list-style-type: none"> ○大阪万博以降に住宅が増えた、比較的新しい街 ○国道171号沿いに住宅地が新しくできる(100戸程度) 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域外の人がゴミを捨てていく 	
防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> ○五日市では防災訓練に取り組んでいる 	<ul style="list-style-type: none"> ○水害のリスクがある 	<ul style="list-style-type: none"> ○災害リスクに対応できるようにする
文化財	<ul style="list-style-type: none"> ○アマソンの土地に遺跡がでた 		

7

第1回ワークショップのまとめ

地域内のつながり(体制)に関する意見のまとめ

魅力	課題	将来
<ul style="list-style-type: none"> ○地域の仲がいい！ 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の情報(自治会の活動)が見えづらい ○コロナの影響により、活動の引継ぎが上手く行えていない ○地域の仲はいいが若い人が入りにくい雰囲気がある ○若い世代とのつながり方が難しい ○地域活動の体制が固定化している 	<ul style="list-style-type: none"> ○若い活動の担い手が来てほしい ○若い世代の意見を反映できる地域にしたい ○地域の体制を立て直したい ○自治会の活動に若い人が参加しやすくなってほしい

考えるテーマ

若い人が参加しやすい組織づくり

地域内のつながり(行事)に関する意見のまとめ

魅力	課題	将来
<ul style="list-style-type: none"> ○子育て世代は地域の行事にも協力的 ○子どもに関するイベントは楽しい企画を柔軟に行える ○地域の子どもは地域で見守る活動に長く取り組んでいる 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域行事に若い人が少ない ○若い人は、子どもに関するイベントの準備等は手伝ってくれるものの、活動には参加してもらいにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者でも活動を続けていけるようにしたい

考えるテーマ

魅力のある行事等の企画・実施

第1回ワークショップのまとめ

遊び場・居場所に関する意見のまとめ

考えるテーマ

魅力	課題	将来
<ul style="list-style-type: none"> ○校区内のイベントが盛ん ○楽しいイベントには子どもが多く参加する ○公共施設が豊富にある 	<ul style="list-style-type: none"> ○みんなで気軽に多世代交流ができる場がない ○公共施設の利用者が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの遊び場をつくる ○みんなが集える場をつくりたい

**みんなで
交流する場・
機会創出**

防犯・防災に関する意見のまとめ

考えるテーマ

魅力	課題	将来
	<ul style="list-style-type: none"> ○青パトが廃止となり、防犯の活動が手薄になっている 	<ul style="list-style-type: none"> ○防災訓練をしたい ○災害リスクに対応できるようにする

**災害に強い
地域をつくる**

第2回ワークショップのまとめ

畑田地区をより魅力的にするためのアイデアについて話し合いました

ワーク1

テーマごとに前回出た意見を振り返ろう！

若い人が参加しやすい組織づくり

みんなで交流する場・機会の創出

魅力ある行事等の企画・実施

災害に強い地域をつくる

ミニ講座

他の地域ではどんなことをして、魅力を伸ばしているの??

さまざまな地域の参加を呼び掛けるアイデア、場を、より楽しくするアイデア、活動を続けやすくするためのアイデア、災害に強い地域にするためのアイデア



ワーク2

いいな！やってみたい！できそう！と
思ったことを話し合おう

- これならできるかも？
- これしてみたい！！
- いつもはこんな工夫をしているよ！
- こういうことしたい！

第2回ワークショップの意見

1班：若い人が参加しやすい組織づくり

ワーク1 前回の振り返り

	魅力	課題		将来
地域の現状	<ul style="list-style-type: none"> ○コロナ後の地域活動はゼロベースでリスタートしている状況のため、新しいことができる！ ○分からないことは人に聞いたり、資料を見たりして状況を確認している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○行事を盛り上げる自治会になっていない？ ○名前を知らない人もいる ○若い人の参加が続かない ○声は掛けても集まってくれない ○やろうとしても諦めてしまってきた 	工 参 す 加 く じ す や	<ul style="list-style-type: none"> ○集まりの開始時間を20時スタートにする ○若い人が集まれる組織・場があれば、自治活動に参加しやすくなるのでは
若い人の現状	<ul style="list-style-type: none"> ○若い人も何かあれば集まりたい！ ・同世代でクリスマスパーティーをした。 	<ul style="list-style-type: none"> ○仕事と家庭の間で地域活動が難しい ○若い世代では行事が多すぎて、新しいことに取り組む時間と気力が無い 	参 加 し た く な る 工 夫	<ul style="list-style-type: none"> ○あの人に会いたいから参加です！と思わせる ○全て体制を若い人に変え、自由にしてもらう ○行事ありきではなく、何のためにといった狙いを定められると良い ・地域活動の必要性を感じやすい「防犯や防災のために」という狙いを定める ・狙いを定めると主婦層の方が必要性に気付きやすくなるため、主婦層のハートをつかむ！

ワーク2 できそう！やってみたい！と思ったこと

若い人を支援する仕組み

- 継続性を取り払う(一回すると継続的にしないといけないのでは。。という懸念を払しょく)
- 行事の見直し
- 自治会という名前はやめて、楽しい「〇〇会」
- 集まるきっかけがゆるい方が集まりやすい
- 若い人の集まりからスタート
- 考えたことが実現できる仕組み
- 地域は若い人たちのやりたいことを応援するよ！スタンス
- 応援してもらえる場
- 一方で地域のバックアップはあると良い
- 情報の伝え方も工夫する
 - ・LINE等もつかい、オンラインでもつながるために、リアルのつながりも必要
 - ・共有だけでなく、コミュニケーションの場としてもオンラインが機能すると良い
 - ・ITもいいけど紙も大切

若い人が参加するメリット

- 狙いを定める！
- ・必要性の高い「防犯・防災」に狙いを定める
- 活動のとりかかりを「子ども」も関係する形をとる
 - ・子どもの参加する習い事・スポーツ団体を巻き込み活動を行う
 - ・子どもの意見(やってみたいこと)も聞いてみる

ワーク1 前回の振り返り				
	魅力	課題	将来	
現状	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な行事を既に行っている ・グランドゴルフ大会(老人会/文化展) ・ポッチャ大会 ・地区リクリエーション ・ふるさと祭り ・文化展 ・西中学校区の集い(4小学校の子供が参加) ・水鉄砲とキャンプファイヤー(青健協主催) ・山野草ハイキング(コロナで中止中) ・野菜の販売(地域によって) ・自治会の大掃除の後のとん汁 ・放課後の子供教室は、学童に行っていない子供達が遊べる 	<ul style="list-style-type: none"> ○集客する方法 ○日程の調整、時期を見直し ○暑い時に準備が大変 ○文化展の作品が少ない 	畑田ならではのイメージをつくりたい 体制	<ul style="list-style-type: none"> ○子供達の思い出になるような行事の企画 ○雨天中止にならない行事 ○市内でどこもやっていない企画を一番のりで! ○畑田といえば、「ポッチャ」「グランドゴルフ」といったイメージを定着させる
体制	<ul style="list-style-type: none"> ○大きなイベントでは地元企業(クロネコ, Amazon)が手伝ってくれている 	<ul style="list-style-type: none"> ○準備をする人手を集める方法(特に土日) ○スポーツの指導者、リーダーがいない 		<ul style="list-style-type: none"> ○色々な会社、団体との集まりにしたい

ワーク2 できそう！やってみたいな！と思ったこと	
できそう！やってみたいな！と思ったこと	
融合既存の行事	<ul style="list-style-type: none"> ○文化展開催期間中にスポーツイベント実施! ・文化展の時に、「グランドゴルフ」「ボルダリング」「健康相談・チェック」福祉を巻き込む ○グランドゴルフをもっと本格的に極める!(指導者を呼ぶ)
新規行事	<ul style="list-style-type: none"> ○映画の鑑賞会の実施(親子参加) ○ウォークラリー(みんなで健康に!) ○ウォークラリーはオリエンテーションもやりながら楽しくやる! ○弁天さん周辺でウォークラリー(クイズラリー) ○茨木市の自然を活用した行事 ○弁天さんで松ぼっくり拾いをする
減負担軽減	<ul style="list-style-type: none"> ○ふれあい祭りの開催時期を変更!(8月→秋10月、11月) ○ふれあい祭り10時~12時半でお昼から宴会!

13

ワーク1 前回の振り返り				
	魅力	課題	将来	
現状	<ul style="list-style-type: none"> ○交流する場はある ・子育てサロン(多くて10組参加) ・75歳以上単身高齢者のお食事会 ・文化展 ・体育祭 ・ニュースポーツ(ポッチャ・グランドゴルフ) ・ふるさと祭り ・健康講座 	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な人が自由に参加しづらい ・いつもメンバーが一緒 ・一人では来づらい状況にある ・参加したことが無い人が参加するきっかけづくりができていない 	リニューアルするために必要なこと	<ul style="list-style-type: none"> ○誰がやるか ○資金はどこから確保できるか(→ちなみに、地域自治組織で使える費用を市から支援してもらえる) ○一人でも参加できる集まりがあるといい
体制等		<ul style="list-style-type: none"> ○会長、組長が毎年変わるから新しいことを何もしない ○横の繋がりが無い ○繋がるきっかけがない ○イベント備品購入はお金が出るのをみんな知らない 		

ワーク2 できそう！やってみたいな！と思ったこと	
できそう！やってみたいな！と思ったこと	
新規取組	<ul style="list-style-type: none"> ○初めての人でも入りやすく、すぐできそうなことからやってみる ・ウォークラリー ・わんわんパトロール ○お年寄りの健康づくり ○おすすめスポットの紹介(春日神社、倍賀)
他との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○大学生との連携(立命館、追手門、梅花) ○大学生、若い人と話す場をつくる ○若い発想をもらう

ワーク1 前回の振り返り				
	魅力	課題		将来
防犯対策の現状	<ul style="list-style-type: none"> ○畑田の治安、防犯灯が点いて、安全にはなっている ○パトロールは若い人も参加している ○防犯協会の支部で、8月末、12月末にパトロールをしている(多くの人が集まる) 	<ul style="list-style-type: none"> ○50代くらいの中層層がパトロールに出てきてくれない ○通学路には防犯カメラがあるが、他市に比べて少ない ○青色パトロールの活動主体が高齢により昨年で活動が終了した 	人的な負担の軽減	<ul style="list-style-type: none"> ○防犯カメラの設置 ・カメラがあつたら心理的な安心、犯罪の予防につながる ○水路の管理の自動化
防災対策の現状	<ul style="list-style-type: none"> ○自主防は火事対策、避難所運営マニュアルなどしている ○自主防災は活発に活動している ○古くなっていた文化住宅はなくなった 	<ul style="list-style-type: none"> ○茨木川の氾濫・水害の危険性 ・水害になったら、学区が川で分かれてしまう ・坂の下で水が溜まりやすい(集中豪雨) ・地域内に水路がいくつか通っている ○水害時の対応 ・水利組合の方も高齢でいざという時に不安(鍵を開けてもらえるか) ○避難 ・避難所では自治会加入・未加入関係ない ・民生委員が高齢者を訪問しても出ない人 	現状の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ○避難所の見直し ・南の方は工業高校(アマゾンも)に行った方が良いのでは？
情報共有	<ul style="list-style-type: none"> ○畑田は新興住宅地で新旧住民の仲が良い 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の情報が分からない ・子どもが大きくなってから引っ越してきたため、地域のことがよくわからない ・近所の子がよくわからず自治会に入った 	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会非加入者への対応 ・自治会に入っている人と入っていない人の情報伝達をどうすればよい？
自治会加入状況		<ul style="list-style-type: none"> ○小学校を卒業したら自治会をやめてしまう人もいる ○自治会に入っていない人もゴミは出すけどマナーも悪く掃除もしない 	クリアする必要がある	

ワーク2 できそう！やってみたいな！と思ったこと	
できそう！やってみたいな！と思ったこと	
防犯	<ul style="list-style-type: none"> ○わんわんパトロールなら楽しそう！ (・庭の水やりを夕方にやりましょうという取組は今もやっている！) ○特殊詐欺の対策の進め方

第3回ワークショップのまとめ

「これならできそう！」と思うアイデアについて話し合いました

ワーク1

前回出たアイデアを
ふまえつつ
具体的にしてい
アイデアを考えよう！

若い人が参加しやすい組織づくり

みんなで交流する場・
機会の創出

魅力ある行事等の企
画・実施

安全・安心な
地域をつくる

ワーク2

アイデアを実現する
ためのワークシートを
つくろう

〇班	
タイトル	
活動の目的	
(既存取組) 取組のよいところ / 課題 (新規取組) 資源のいいところ / もったいないところ	
具体的な内容 (やること)	
誰がやる?	
最初の一步 (何からはじめる?いつから?)	
スケジュール (いつ、どのように進めるか)	
参加した皆さんからのメッセージ	

17

第3回ワークショップのまとめ

1班：若い人が参加しやすい組織づくり

アイデアを具体化するうえでの課題

- 若い人が地域活動に出てきてくれるのは難しい
- 若い人が必要としているものが何か知りたい
- 「若い」とは、どの年代を狙うのかによる
- 情報伝達がうまくいっていない
- 参加する先が組織となると、ハードルが高いと思われる
- 一つ一つのイベントのゴールが不明瞭

地域活動に参加しやすくする工夫

- 若い人が見るSNSを活用し、広報宣伝
→逆にオンラインでの参加は、高齢者には難しい
- 子どもをイメージした、クリスマス会などのイベント
→年配者だから伝えられる、餅つきなどのイベントだと楽しそう
- 若い人だけの組織にするのはどうだろうか。
- 若い人がリーダーになれば、若い人を連れてくる
- 連合会と若い人との連携体制を作るのはどうだろうか

具体化していきたいアイデアの種

- スケールの大きい、ふるさと祭りをまずは若い人だけで実施してみる
- ネットでは拾えない情報交換(どの塾が良いなど)ができる場の設定
- 若い人が地域活動についてどう思っているのか知るために話をきく
- わんわんパトロールは面白そう！
→しかし、参加できる時間が限られているため、時間に融通が利きづらい若い人は参加しづらいのではないかな

➡ まずは、若い人の話を聞こう！

【1班 アクションシート】

テーマ： ①若い人が参加しやすい組織づくり	
タイトル	若い人の話を聞こう！
活動の目的	<ul style="list-style-type: none"> ○若い人の話を聞く ○まずは、どうすれば若い人が来てくれるのかを知る ○若い人に自治会の必要性を感じてもらう
取組	<ul style="list-style-type: none"> ○意見を上の代(現在の活動の担い手である熟練者)に伝える(例:若い人を集めるイベントの実施が重要！) ○趣味をベースにしたイベント
具体的な内容 (やること)	<ul style="list-style-type: none"> ○若い人が自然と行ってみたいと思えるような場をつくる ○ある程度、目星を付ける、ゆるく規制をする ○地域で働く人の声を聞く(小・中・高校生にも) ○若い人の意見を聞く ○イベントのマニュアル作成 ○若い人の「やりたい」をどう引き出すか ○ただ新しいことをすると、負担が増えるため、既存のイベントを変える
最初の一步	<ul style="list-style-type: none"> ○イベントのマニュアル作成を行う ○一つ一つのイベントのゴールや目的を伝える
誰がやる？	<ul style="list-style-type: none"> ○若い人も今の経験者を頼りにしているため、若い人を中心に実施する！ →その際に経験者がバックアップする！

19

第3回ワークショップのまとめ

2班：魅力のある行事等の企画・実施

具体化していききたいアイデアの種

<p>○スポーツで実施したいイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニュースポーツを盛り上げる ・(畑田で行われているニュースポーツの中でも盛り上がっている) <p>ボッチャを普及・拡大する</p>	<p>○スポーツ以外で実施したいイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子での映画観賞会 ・ウォークラリー(オリエンテーションをやりながら楽しく) ・山野草ハイキングの復活 	<p>○ふれあいまつりの負担軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催時期を、10月に変更 ・開催時間を、10時～14時半に変更 ・終了後に、懇親会を開催
--	---	--



畑田のイメージを定着させられる「ボッチャ」の普及・拡大

【2班 アクションシート】

テーマ： 魅力のある行事等の企画・実施	
タイトル	畑田での「ボッチャ」の普及・拡大しよう！
活動の目的	○畑田といえば、「〇〇」といった、イメージを定着させる
既存取組の強化	○年1回の畑田ボッチャ大会を、年2回に変更する ○毎週日曜日の公民館講座の中で行われているニュースポーツで、16名ほどの参加人数の増加を目指す。 ○ボッチャ大会の参加チームを増やす。 ○ボッチャのセットを、追加で1セット買う
新規取組の実施	○学校の先生に、ニュースポーツに参加してもらい、授業で教えてもらおう！もしくは、地域で子どもに教える →そのために、広報を強化する(小学校にチラシを配布するなど)
誰がやる？	○畑田ボッチャ大会を、6月開催+2月か3月に追加で開催 ○親子チームを結成して、参加してもらおう！

21

第3回ワークショップのまとめ

3班：みんなで交流する場・機会創出

これまでの取組

- コロナ前には4～7人でおやじ会を実施した
- 文化展でたこせんを売った
- ふるさと祭りの屋台で稼いだお金で水鉄砲の大会を実施した(参加率50%、170名参加した)
- ここ5年間は毎年、漢字検定を実施している
- 小学校で、サマーキャンプ(小学生・保護者)
- 親子で参加できるイベントの実施に向けて、保護者に手伝いを呼び掛けたら、40～50人来てくれた

アイデアを具体化するうえで気を付けたいこと

- 若い人が、やりたいことをやるだけの集まりがいい
- イベントごとに子どもはみんな参加したいのではないか
- 保護者抜きでも参加できるようになればいいのではないか
- 各世代で集まることができる場ができたなら、いろいろな催しもしやすくなるのでは？
- こんなことやりたい！って思った人が相談しに行ける「地域の窓口」があるといい
- 実施したいと思うイベントに、「この指とまれ！」形式で実施者や参加者を募る
- お客さんになるのではなく、参加者も主催者になれるイベントの実施
- イベントを開催しても、強制と思われないような配慮の実施

➡ **若い世代や子どもが地域に関わるきっかけとしてウォークラリー₋₇₇の実施を考えよう**

22

【3班 アクションシート】

テーマ： みんなで交流する場・機会創出	
タイトル	ウォークラリーを実施しよう！
活動の目的	○初めての若い世代・子どもと地域が関わるきっかけをつくる ○地域を、畑田を知るきっかけをつくる
具体的な内容 (やること)	○お年寄りの方にスポットにまつわる話をしてもらい、各スポットでハンコをもらう ○五日市灯籠や倍賀神社がスポットの一つとして考えられる ○スポットで記念撮影をする ○老若男女問わず親子でも楽しめるイベントにする。
誰がやる？	○青健協+やりたい人 ○子どもが楽しいイベントを実施し、親に手伝いを求める。
スケジュール	○春か秋、7月頭か6月に実施。 ○1学期は地域活動が少ないため、そのあたりに実施できると負担も少ないのではないかと。
メッセージ	○皆さん、楽しく参加しましょう ○最初は好きな人だけ（少人数）でも出来たらいいね ○今後がすごく楽しみです

23

第3回ワークショップのまとめ

4班：安全・安心な地域をつくる

具体的に考えていくために

- | | |
|-----------|---|
| 防犯 | ○関係性ができれば、お互い様になるが、関係ができるまでが難しい。
○青パトの役も、大学生や夫が、やれるよ！と言っていた
○青パトの役も募集しているが、募集していることも知らない人が多い。
○スケジュールが大変な取組になる。簡単な方法はない？ |
| 防災 | ○避難訓練の案内は、会員にしかいかない
○案内を貼っていても、自治会未加入者は見ないことが多い
○地域内での付き合いが減ってきており、自治会加入を望んでいない人が増えている。
○市のSNSがあつて、通知は来る
○高齢の方は、情報誌の裏など、アナログで情報収集に対応している。
○そもそも安全だから、あまり心配していない。 |

安全・安心な場所(まち)にしていくために

- ・危険な場所を共有する機会があればいいのに。
- ・小学校のPTAは、危険スポットを提出している。
- ・プラットホームがあると良い！対策までは至らないこともあるが、その仕組みがあればいいな。
- ・どうやって、顔の見える関係を作っていけばいいのか。
- ・防災や防犯に関する意見は自治会長からであれば市に意見が通じやすい。(例：通学路が危ないからカーブミラーをつけられないだろうか等)
- ・自治会長も1年の輪番制であるため、自治会長の負担が大きすぎるのが想定されるため、自治会長をサポートする人が大切になる。
- ・一年の任期だけでも大変なのに、他の活動まで手をなかなか伸ばせない。
- ・自治会長が所属していない別の班から問題がたくさんあがってくるものの、自治会長は実態を把握(土地勘がないため)できていない。
- ・自治会長のサポートをしてあげる必要がある！

情報の共有
から
はじめよう

【4班 アクションシート】

テーマ： 安全・安心な地域をつくる	
タイトル	プラットフォームを作って情報を共有しよう！ 歴任の人は対応できる、新米の人をサポートしよう！
活動の目的	○情報を吸い上げて、安全・安心な地域を作る ○人と人とのつながりをつくる
取組	○まずは、自治会長に情報が入る、そこから先の集約先は？ 連合会or協議会or市議
具体的な内容 (やること)	○道路の危険個所の収集 ○犯罪情報、動物情報 ○既存のプラットフォームの情報を伝える ○人と人との繋がりを作ることが、安心・安全を作る
誰がやる？	○防犯、防災は既存団体に！ ○道路やゴミなど、その他のテーマの受け先をどうする？
最初の一步	○協議会で発議しよう！

ワークショップを経て、これから

今後の
方向性
①

地区の将来に向けて、
若い人の参加促進が
最も重要

これから

- ・ まずは、若い人の意見を聞く場をつくってみる！

具体的に実施すること

- ・ 若い人の興味・関心が高い「まちの安全（防犯・防災）」に関するテーマを切り口に意見交換会を行う
- ・ それにあわせて、自治会・地域についての若い人の考えを聴く！

今後の
方向性
②

地区の「魅力」と
「交流の機会」を増やす

これから

- ・ 地域の魅力を高め、交流を促すイベントを行う

具体的に実施すること

- ・ 若者から子どもまで地域を知ってもらえるウォークラリーを企画して行う！
- ・ 畑田と言えば「ポッチャ」というイメージを定着させるため、ポッチャ大会を年に2回実施する！